

教育課程特例校 新教科「Globe」

成果と課題

(1) 成果

- 全体的に肯定的な意見が増えており、東川の先生方の GLOBE カリキュラムの継続的な実施が実を結んでいる。
- 東川のよさを知っている児童生徒が増えているのは、意識して取り入れてきた成果であり、移住者が増えている現在、引き続き力を入れていきたい。
- 児童生徒の感想から「英語が将来自分の役に立つ」「他国の人と話ができる」「他国の文化を知りたい」など、GLOBE が児童生徒にとって有益な学習であると実感しているようである。
- 4 月と比べて 12 月の自由記述は前向きな意見が増えた。今後も自己評価の低い児童生徒への個別の働きかけを続けたい。
- 「地域アンケート」では、GLOBE の取組が浸透してきたということが分かる。
- 「保護者」の方は、「英語力を気にせず」「国は関係なく」「国籍は問わず」他国の方とコミュニケーションや仲よくなれる取組として GLOBE に期待しており、GLOBE の目的を理解してくれている。
- 大学生へのアンケートは、今後も継続することで GLOBE を学んだ児童生徒が、どのようなことを考えたり感じたりしたかが把握でき、長期でこの取組の成果が見えてくるだろう。
- GLOBE 以外に、5 年生の国語科で、中国の詩について学習する際に、CIR を活用することができた。

(2) 課題

- △「日本の文化を知っているか」がやや低い。GLOBE カリキュラムにも取り入れているが、国語科、社会科、芸術教科、道徳など他教科の中で意識して学習していきたい。
- △地域の文化としてアイヌ文化を更に取り上げ、学ばせたい。
- △中学校で「自分の考えを英語で書けない」実体が上げられた。考えの形成は、全ての教科等において育てていきたい。
- △中学校で他の力に比べ、書く力が弱いことが上げられた。小学校高学年で月や曜日のスペルを言うことやワークシートを工夫することで改善を図りたい。
- △L G 系統図等を活用し、各担任に学年の系統性を意識してもらえるような働きかけが必要である。
- △中学校進学時に同学年内での差が広がらないよう、小小の合同学習などを実施したい。
- △5 年生になると読むことや書く機会も増え、苦手意識をもつ児童が増えている。楽しく読み書きを身につける工夫や、個への支援が必要である。
- △英語力を測るものとして、英検 E S G では「話すこと」「書くこと」が見とれないが、他校と比較はしやすい。小学生も英検受験させてはどうか。
- △中学校の担当者の負担が大きい。

(3) 来年度に向けて

- ① 1年生 Globe スペシャルの「日本のおどり世界のおどり」にアイヌのおどりを加える。
楽器や食べ物も導入を検討する。(アイヌ民族文化財団アドバイザー派遣事業を活用)
- ② 小小の合同学習を実施する。
4年生「お気に入りの場所」、5年生「町案内」、6年生「伝えよう私たちの暮らし」
100人村ワークショップ。
一小、二小、三小は、6年生「パラスポーツ体験」で合同授業を行う。
- ③ 4月アンケートによる結果と学力から、支援が必要な児童生徒への配慮や対応を講じる。
- ④ アフターコロナでの交流活動の促進として、高校、日本語学校との交流を実施する。

(4) 検討事項

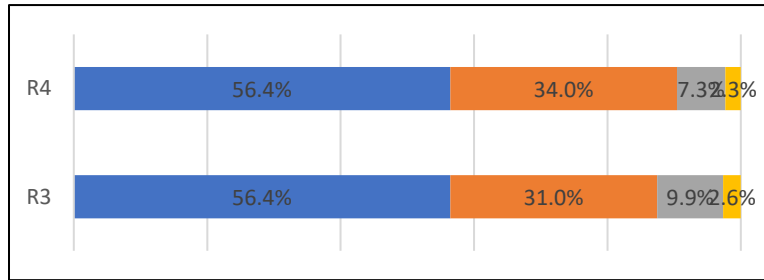
- ① 小学生の英検受検の助成について
- ② 中学校 Globe 担当の負担について
- ③ 町バス・車の利用について

児童アンケート昨年度との比較

A	B	C	D
よく	まあまあ	あまり	ない

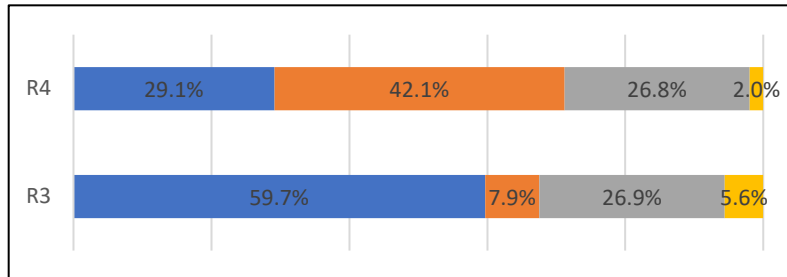
1 あなたは、自分にはよいところがあると思いますか。

	R3	R4
A	56.4%	56.4%
B	31.0%	34.0%
C	9.9%	7.3%
D	2.6%	2.3%



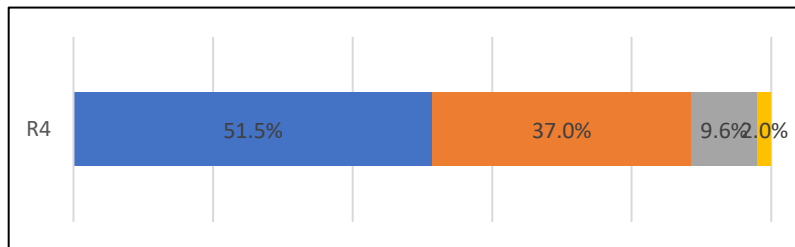
2 あなたは、自分の考えを相手に伝えることが得意ですか。

	R3	R4
A	59.7%	29.1%
B	7.9%	42.1%
C	26.9%	26.8%
D	5.6%	2.0%



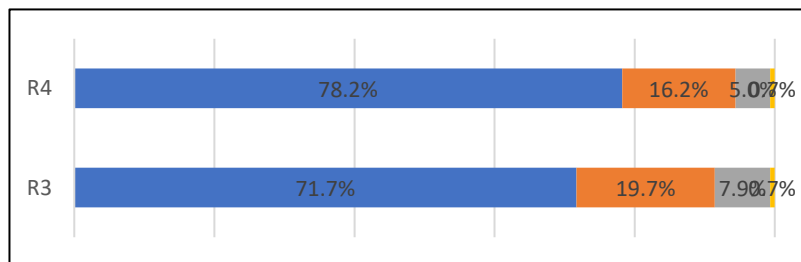
3 あなたは、東川町で行われているイベントや行事に参加していますか。

	R3	R4
A		51.5%
B		37.0%
C		9.6%
D		2.0%



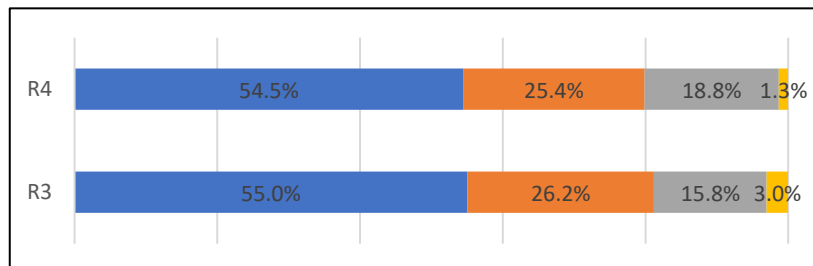
4 あなたは、東川のよさを知っていますか。

	R3	R4
A	71.7%	78.2%
B	19.7%	16.2%
C	7.9%	5.0%
D	0.7%	0.7%



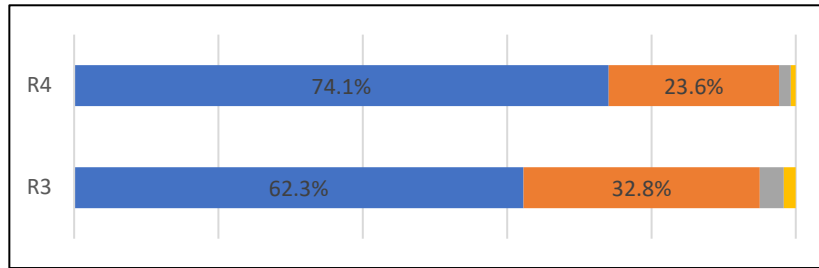
5 あなたは、日本のよさを知っていますか。

	R3	R4
A	55.0%	54.5%
B	26.2%	25.4%
C	15.8%	18.8%
D	3.0%	1.3%



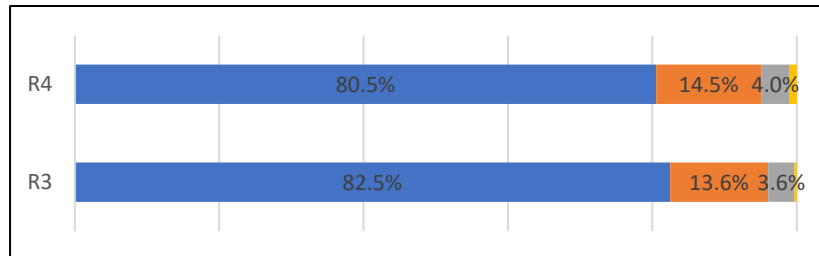
6 Globeの授業に進んで参加していると思いますか。

	R3	R4
A	62.3%	74.1%
B	32.8%	23.6%
C	3.3%	1.7%
D	1.7%	0.7%



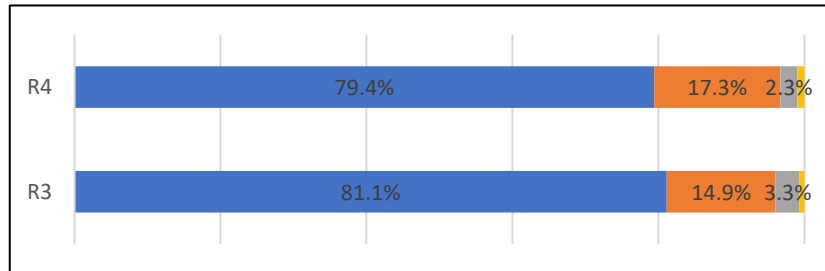
7 英語は自分にとって役に立つと思いますか。

	R3	R4
A	82.5%	80.5%
B	13.6%	14.5%
C	3.6%	4.0%
D	0.3%	1.0%



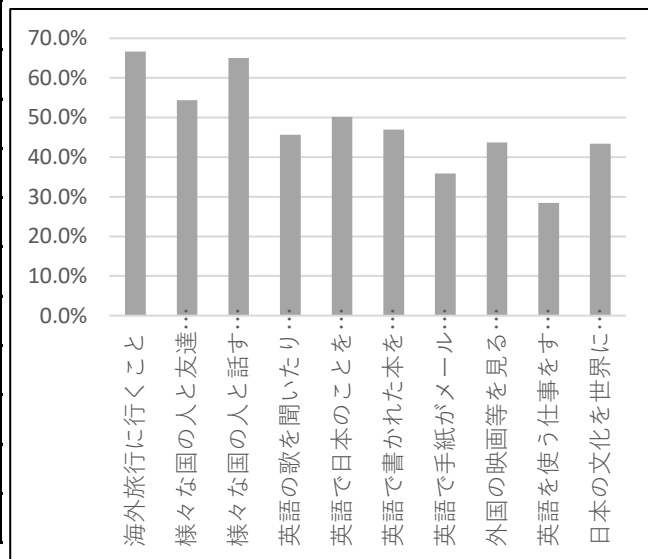
8 英語を使えるようになりたいですか。

	R3	R4
A	81.1%	79.4%
B	14.9%	17.3%
C	3.3%	2.3%
D	0.7%	1.0%



9 英語を使ってしてみたいことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

	R4
1 海外旅行に行くこと	66.7%
2 様々な国の人と友達になること	54.4%
3 様々な国の人と話すこと	65.0%
4 英語の歌を聞いたり歌ったり	45.6%
5 英語で日本のことを紹介すること	50.2%
6 英語で書かれた本を読むこと	46.9%
7 英語で手紙がメールを書くこと	35.9%
8 外国の映画等を見ること	43.7%
9 英語を使う仕事をする	28.5%
10 日本の文化を世界に広めること	43.4%

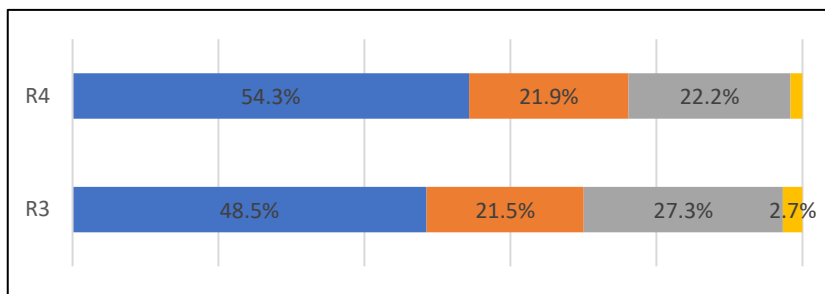


その他

- プロサッカー選手になるために外国に行ってみんなと声を掛け合いながらサッカーをしないといけないから。
- 外国の遊びを英語で喋りながら遊びたい
- 世界の人と住んでみたい
- 英語を他の人に教えること
- 兄弟（家族）と話したい

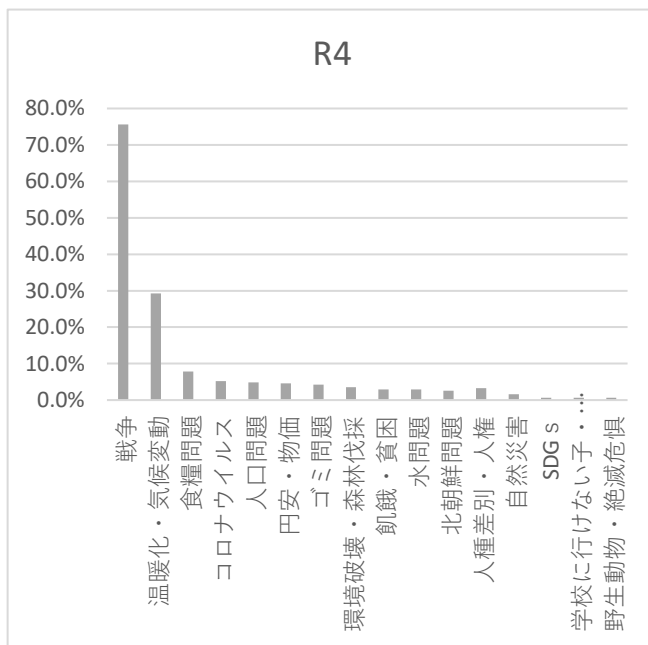
14 あなたは、世界で起きている問題について知っていることはありますか。

	R3	R4
A	48.5%	54.3%
B	21.5%	21.9%
C	27.3%	22.2%
D	2.7%	1.7%



14-2 どんなことを知っていますか。

	R4
戦争	75.6%
温暖化・気候変動	29.2%
食糧問題	7.8%
コロナウイルス	5.2%
人口問題	4.9%
円安・物価	4.5%
ゴミ問題	4.2%
環境破壊・森林伐採	3.6%
飢餓・貧困	2.9%
水問題	2.9%
北朝鮮問題	2.6%
人種差別・人権	3.2%
自然災害	1.6%
SDG s	0.6%
学校に行けない子・識字	0.6%
野生動物・絶滅危惧	0.6%

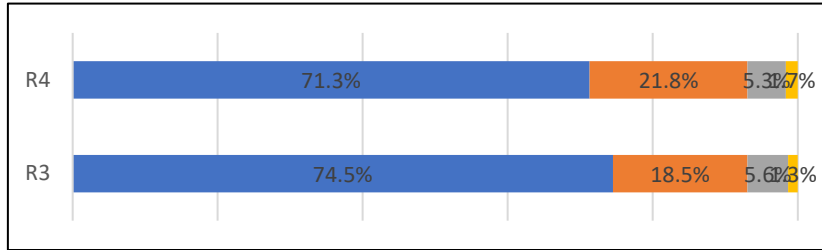


その他

資源に頼りすぎてもう使えないぐらいまでになっている。
コカイン
アメリカの大統領選挙。
鳥インフルエンザ
LGBTQ
核兵器
ふじさん
機械が発展している
難民

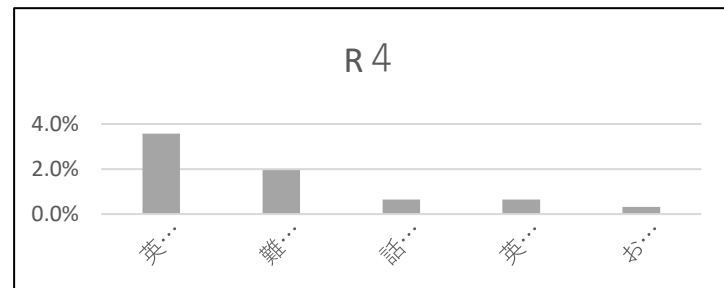
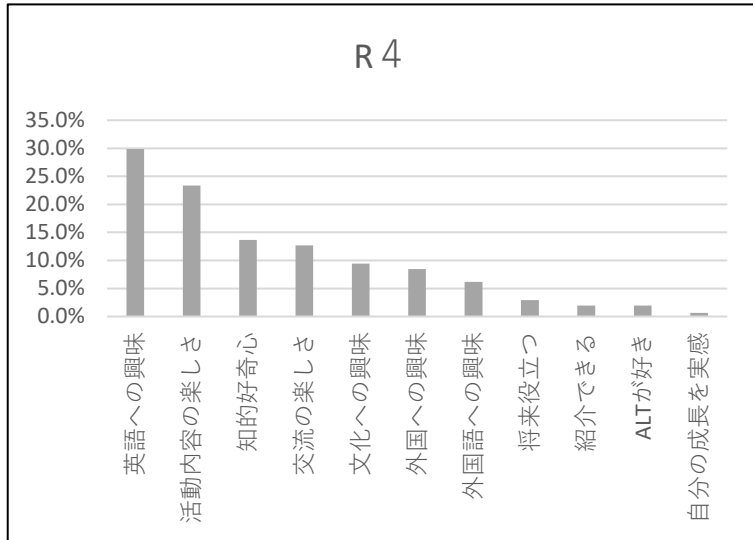
15 「Globe」は、好きですか。

	R3	R4
A	74.5%	71.3%
B	18.5%	21.8%
C	5.6%	5.3%
D	1.3%	1.7%



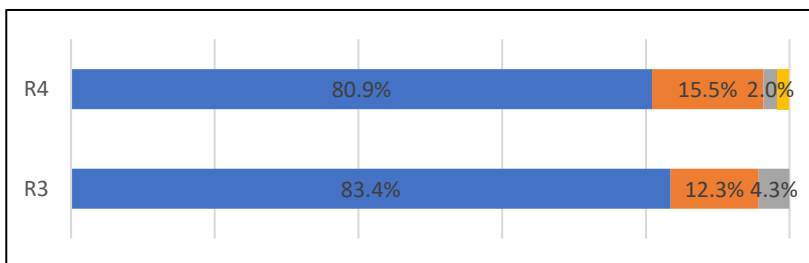
上の質問で選んだ理由を書いてください。

回答 1, 2	R4
英語への興味	29.9%
活動内容の楽しさ	23.4%
知的好奇心	13.6%
交流の楽しさ	12.7%
文化への興味	9.4%
外国への興味	8.4%
外国語への興味	6.2%
将来役立つ	2.9%
紹介できる	1.9%
ALTが好き	1.9%
自分の成長を実感	0.6%
回答 3, 4	R4
英語が苦手	3.6%
難しい	1.9%
話すのが苦手	0.6%
英語が嫌い	0.6%
おぼえるのが苦手	0.3%



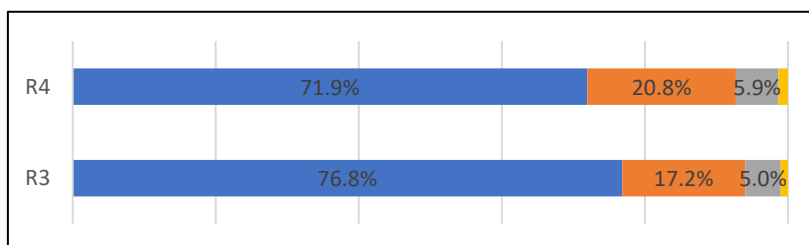
16 「Globe」は、自分の将来に役立つと思いますか。

	R3	R4
A	83.4%	80.9%
B	12.3%	15.5%
C	4.3%	2.0%
D	0.0%	1.7%



17 「Globe」は、ふだんの生活でも役立つと思いますか。

	R3	R4
A	76.8%	71.9%
B	17.2%	20.8%
C	5.0%	5.9%
D	1.0%	1.3%

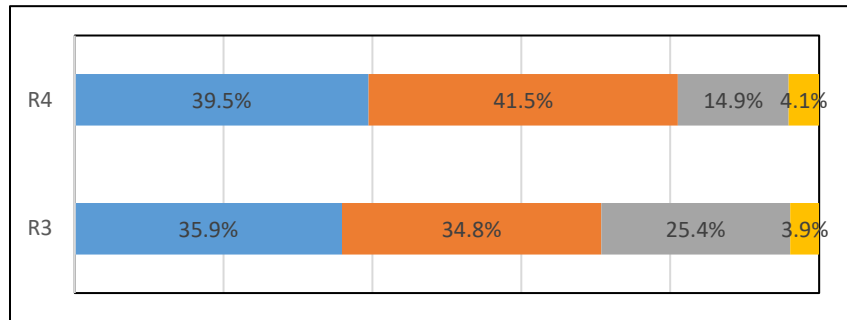


中学校アンケート昨年度との比較

A	B	C	D
ある	どちらかといえば	あまりない	ない

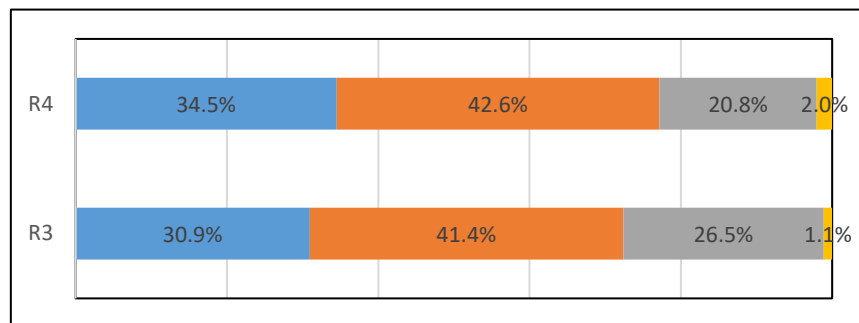
1 あなたは、自分にはよいところがあると思いますか。

	R3	R4
1	35.9%	39.5%
2	34.8%	41.5%
3	25.4%	14.9%
4	3.9%	4.1%



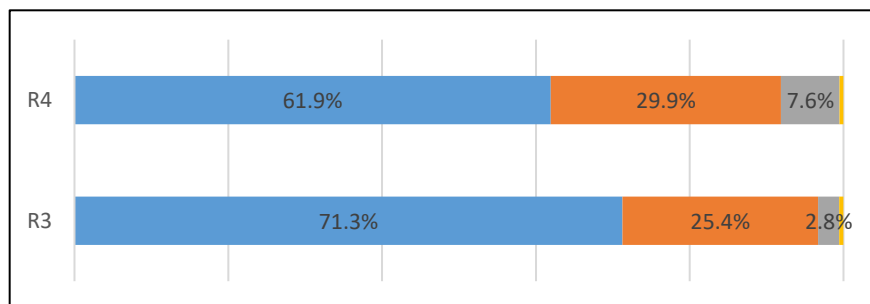
2 あなたは、自分の意見を持ち、自分の考えを表現することができますか。

	R3	R4
1	30.9%	34.5%
2	41.4%	42.6%
3	26.5%	20.8%
4	1.1%	2.0%



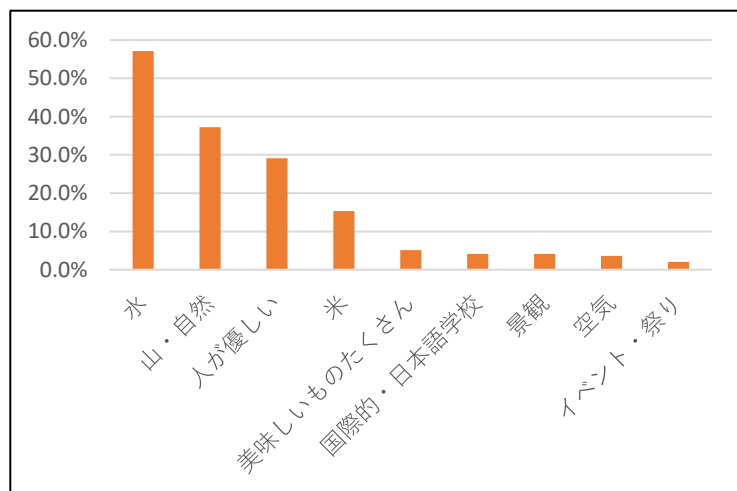
3 あなたは、東川町のよさ（人、自然、食べ物など）を知っていますか。

	R3	R4
1	71.3%	61.9%
2	25.4%	29.9%
3	2.8%	7.6%
4	0.6%	0.5%



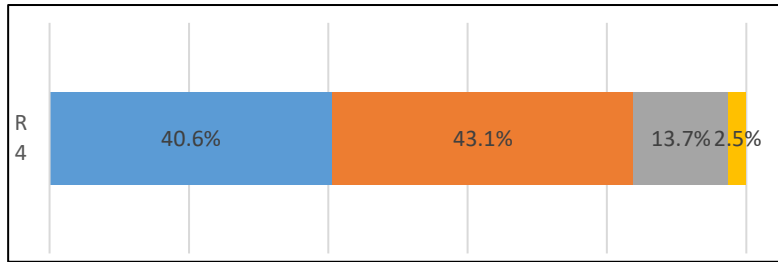
そのよさについて書いてください。

1	水	57.1%
2	山・自然	37.2%
3	人が優しい	29.1%
4	米	15.3%
5	美味しいものたくさん	5.1%
6	国際的・日本語学校	4.1%
7	景観	4.1%
8	空気	3.6%
9	イベント・祭り	2.0%



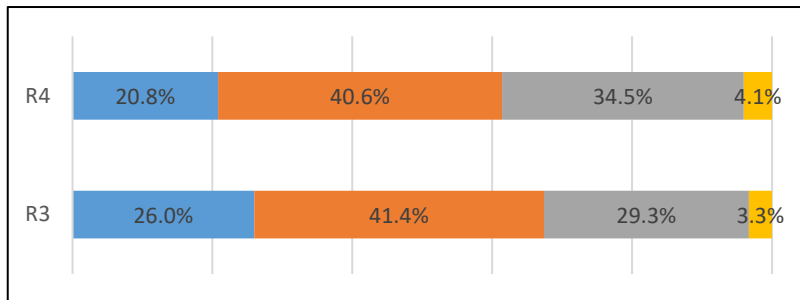
4 あなたは、東川町で行われているイベントや行事に参加していますか。

	R3	R4
1		40.6%
2		43.1%
3		13.7%
4		2.5%



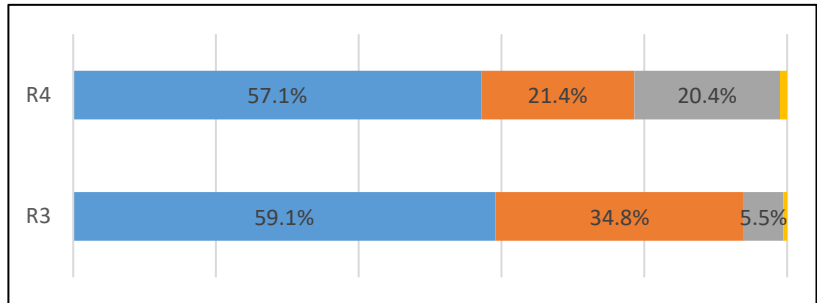
5 東川町をよりよい町にするために、できることを考えたことがありますか。

	R3	R4
1	26.0%	20.8%
2	41.4%	40.6%
3	29.3%	34.5%
4	3.3%	4.1%



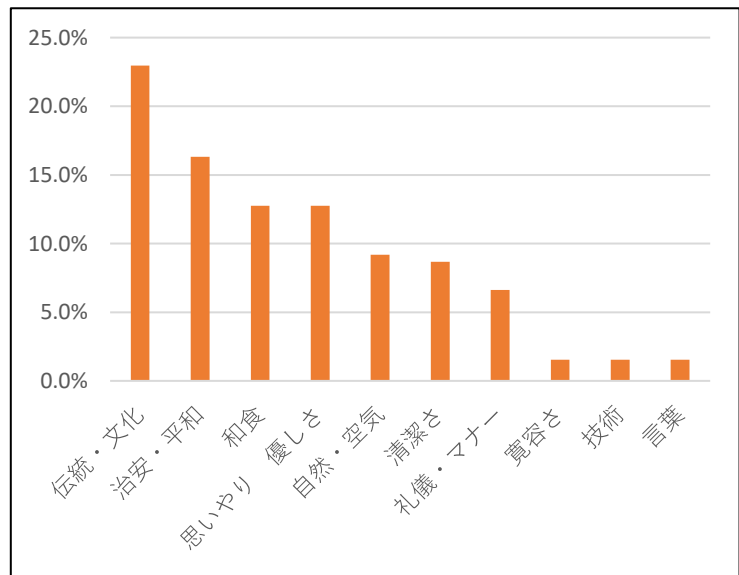
6 あなたは、日本のよさを知っていますか。

	R3	R4
1	59.1%	57.1%
2	34.8%	21.4%
3	5.5%	20.4%
4	0.6%	1.0%



そのよさについて書いてください。

伝統・文化	23.0%
治安・平和	16.3%
和食	12.8%
思いやり 優しさ	12.8%
自然・空気	9.2%
清潔さ	8.7%
礼儀・マナー	6.6%
寛容さ	1.5%
技術	1.5%
言葉	1.5%



【その他】

ひとつのことに打ち込める

ひとつのことをみんなで応援できること

外国人とたくさん交流している、選挙でもしっかりと話し合っている

自由

住みやすい

団結力が高い ヤップ遺伝子

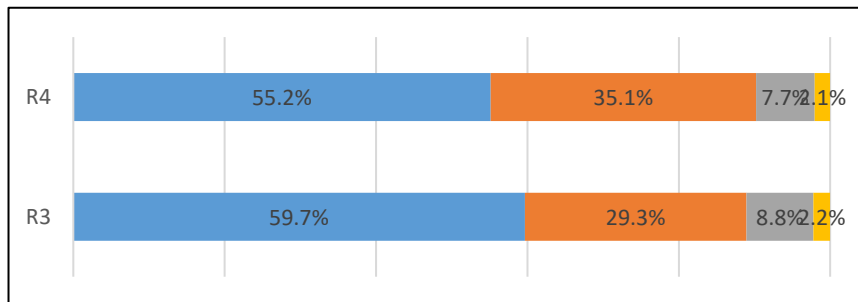
釣りができる事

物を大切にする

雰囲気が落ち着く

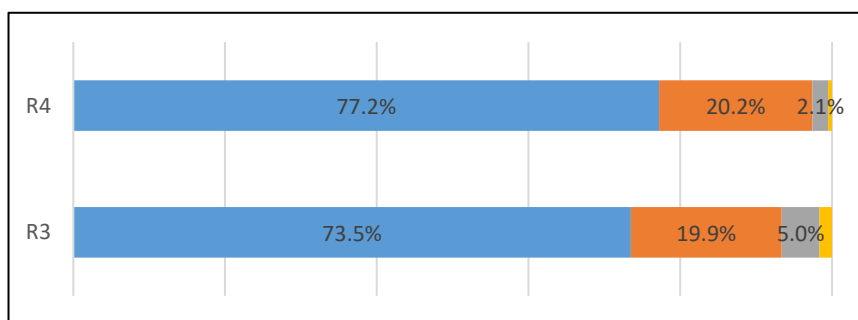
7 日本や東川のことについて他国の人に知ってもらいたいと思いますか。

	R3	R4
1	59.7%	55.2%
2	29.3%	35.1%
3	8.8%	7.7%
4	2.2%	2.1%



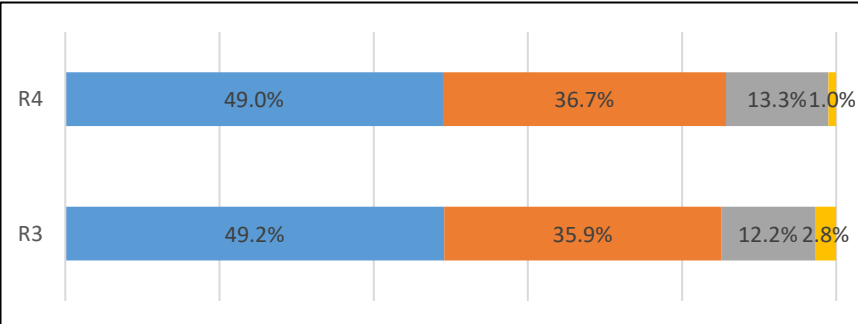
8 英語は、これからの国際社会や社会に出て仕事をするのに役に立つと思いますか。

	R3	R4
1	73.5%	77.2%
2	19.9%	20.2%
3	5.0%	2.1%
4	1.7%	0.5%



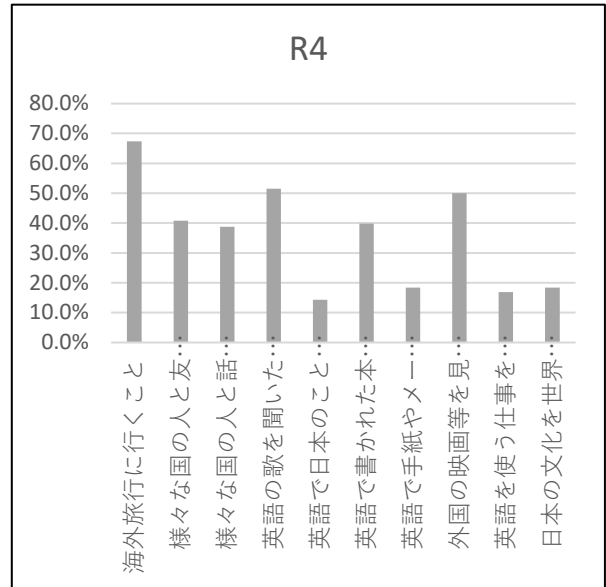
9 英語を話す国に限らず、外国の人々、文化、歴史、社会などに興味がありますか。

	R3	R4
1	49.2%	49.0%
2	35.9%	36.7%
3	12.2%	13.3%
4	2.8%	1.0%



10 英語を使ってしてみたいことは何ですか。（複数回答可）

		R4
1	海外旅行に行くこと	67.3%
2	様々な国の人と友達になること	40.8%
3	様々な国の人と話すこと	38.8%
4	英語の歌を聞いたり歌ったり	51.5%
5	英語で日本のことを紹介すること	14.3%
6	英語で書かれた本を読むこと	39.8%
7	英語で手紙やメールを書くこと	18.4%
8	外国の映画等を見ること	50.0%
9	英語を使う仕事をする	16.8%
10	日本の文化を世界に広めること	18.4%



【その他】

好きなグループの曲などで英語の歌詞が出てきてもすぐに歌えるようにしたい。

外国版のワンピースを読みたい

海外のゲームをプレイすること

海外のゲームをする

インタビューで英語で話してみたい

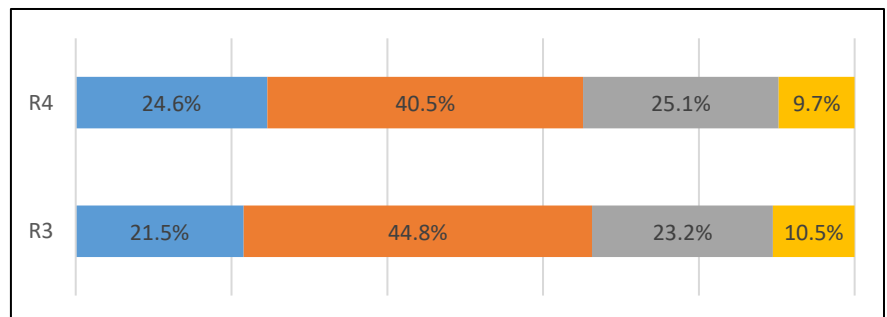
違う国の人と一緒にサッカーをしたい

海外の人と自国同士の文化や歴史を交流し合うこと

英語の問題を解いてみたい

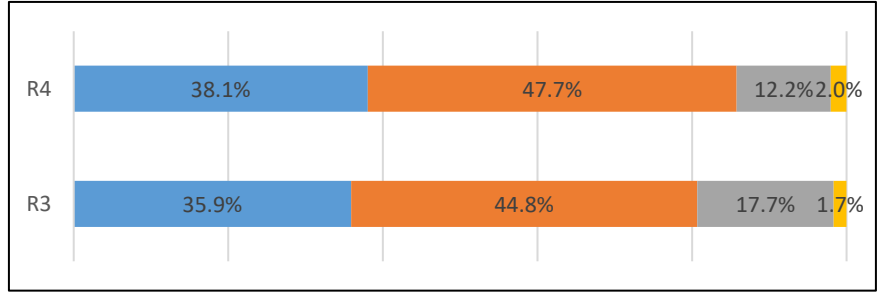
11 人前で英語を話すのは、はずかしいですか。（はずかしくない1 はずかしい4）

	R3	R4
1	21.5%	24.6%
2	44.8%	40.5%
3	23.2%	25.1%
4	10.5%	9.7%



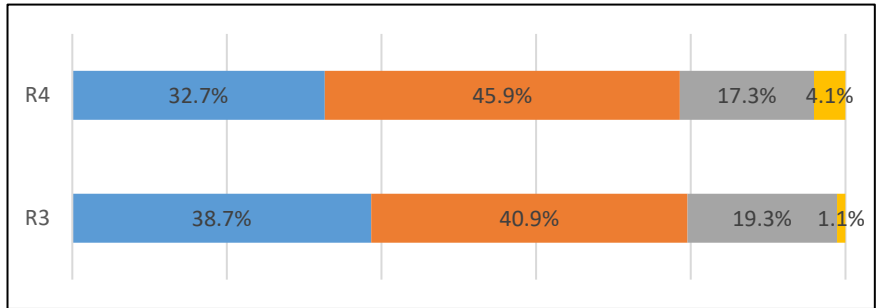
12 Globeの授業に進んで参加していると思いますか。

	R3	R4
1	35.9%	38.1%
2	44.8%	47.7%
3	17.7%	12.2%
4	1.7%	2.0%



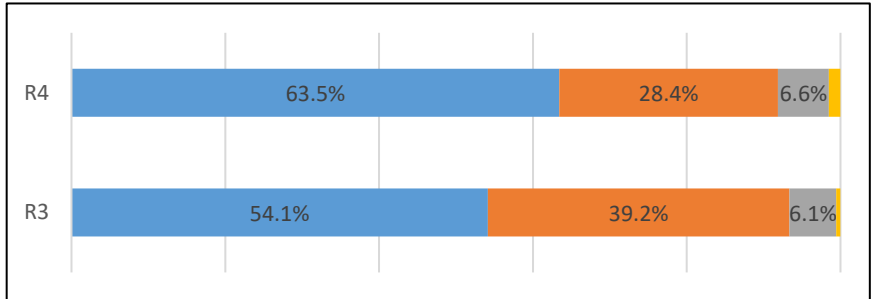
13 あなたは、東川町にいる様々な国の人と接するのは好きですか。

	R3	R4
1	38.7%	32.7%
2	40.9%	45.9%
3	19.3%	17.3%
4	1.1%	4.1%



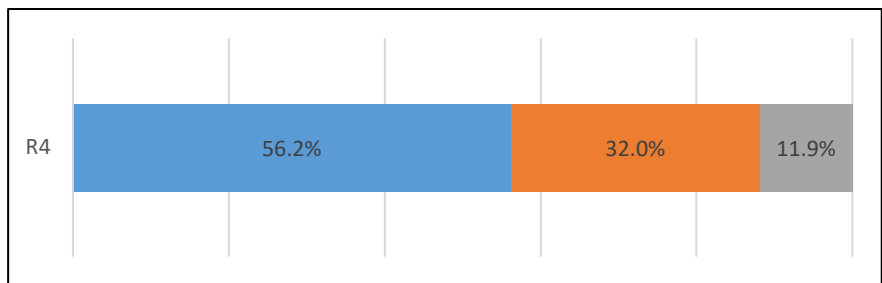
14 あなたは、日本と他国との文化の違いがわかりますか。

	R3	R4
1	54.1%	63.5%
2	39.2%	28.4%
3	6.1%	6.6%
4	0.6%	1.5%



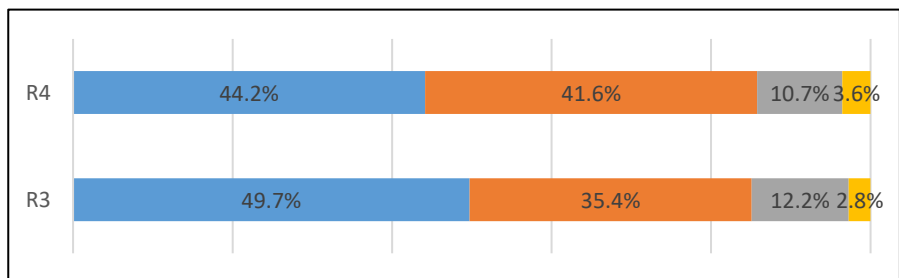
15 あなたは、世界で起きている問題について考えたことがありますか。

	R3	R4
1	58.6%	56.2%
2	27.1%	32.0%
3	12.7%	11.9%
4	1.7%	0.0%



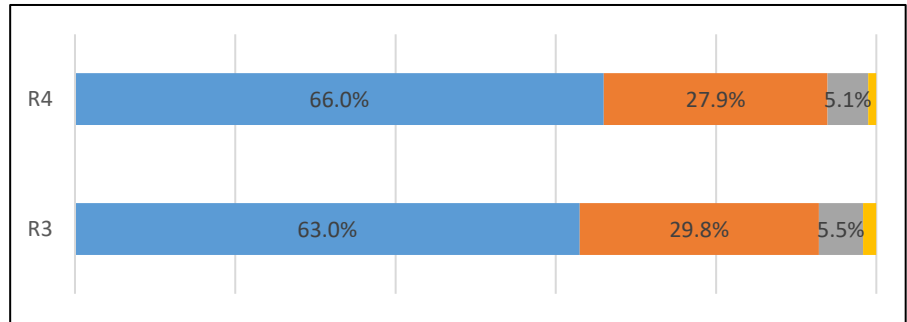
16 他国の人と友達になったり、他国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。

	R3	R4
1	49.7%	44.2%
2	35.4%	41.6%
3	12.2%	10.7%
4	2.8%	3.6%



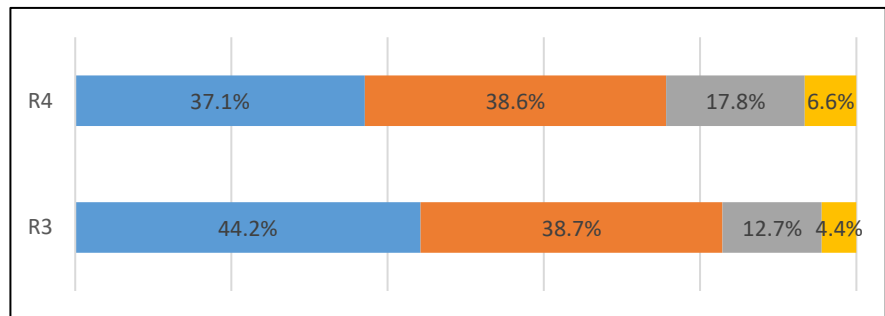
17 考え方や文化の違いがある人とでも、共に協力していこうと思いますか。

	R3	R4
1	63.0%	66.0%
2	29.8%	27.9%
3	5.5%	5.1%
4	1.7%	1.0%

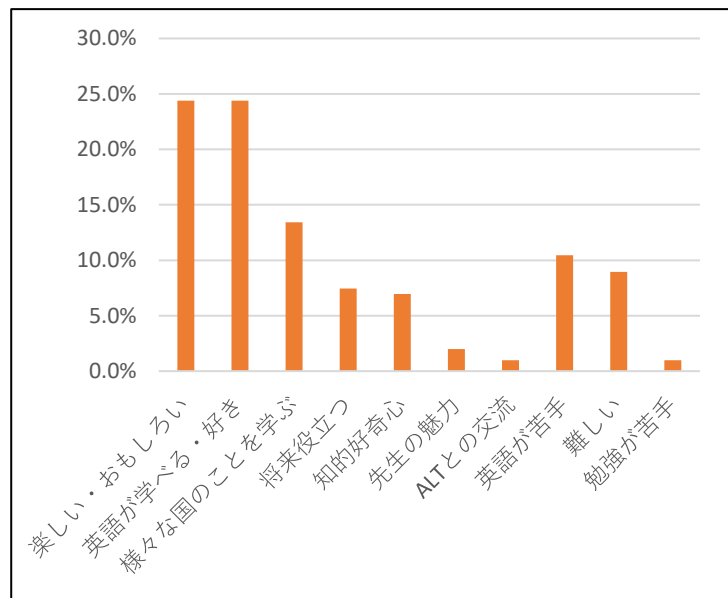


18 「Globe」は好きですか。

	R3	R4
1	44.2%	37.1%
2	38.7%	38.6%
3	12.7%	17.8%
4	4.4%	6.6%

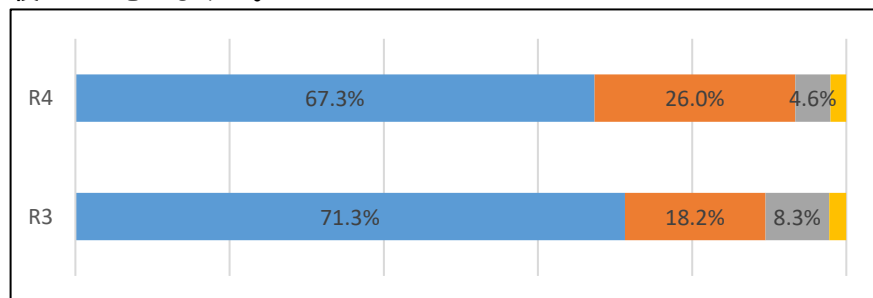


R4 理由の回答	
楽しい・おもしろい	24.4%
英語が学べる・好き	24.4%
様々な国のことを学ぶ	13.4%
将来役立つ	7.5%
知的好奇心	7.0%
先生の魅力	2.0%
ALTとの交流	1.0%
英語が苦手	10.4%
難しい	9.0%
勉強が苦手	1.0%



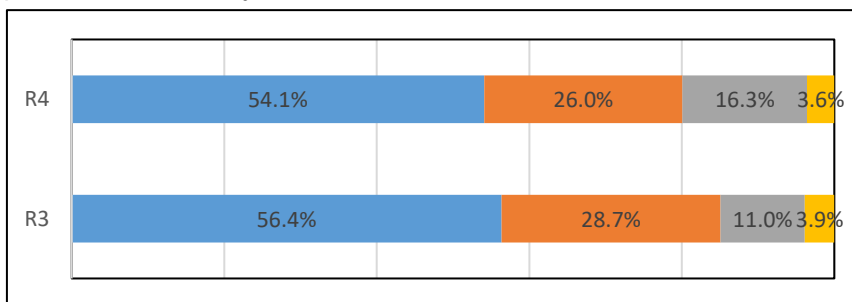
19 「Globe」は、自分の将来に役立つと思いますか。

	R3	R4
1	71.3%	67.3%
2	18.2%	26.0%
3	8.3%	4.6%
4	2.2%	2.0%



20 「Globe」は、普段の生活に役立つと思いますか。

	R3	R4
1	56.4%	54.1%
2	28.7%	26.0%
3	11.0%	16.3%
4	3.9%	3.6%

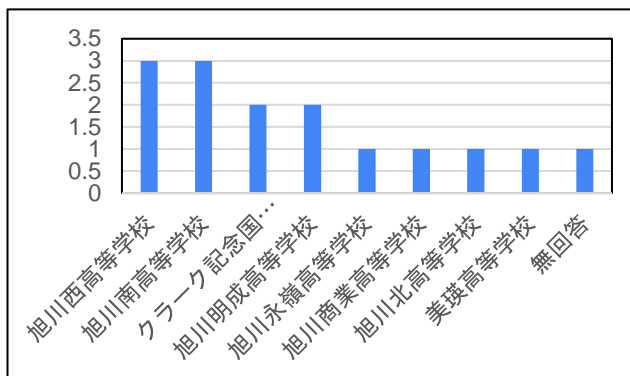


大学生アンケート

1 出身高校

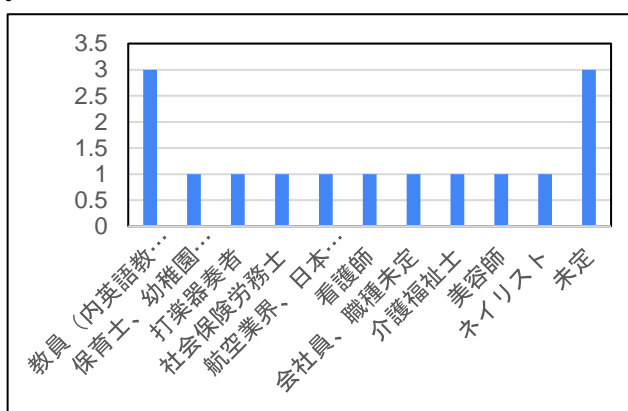
高校名	R4
旭川西高等学校	3
旭川南高等学校	3
クラーク記念国際高等学校	2
旭川明成高等学校	2
旭川永嶺高等学校	1
旭川商業高等学校	1
旭川北高等学校	1
美瑛高等学校	1
無回答	1
合計	15

A	B	C	D
ある	少し	あまり	ない



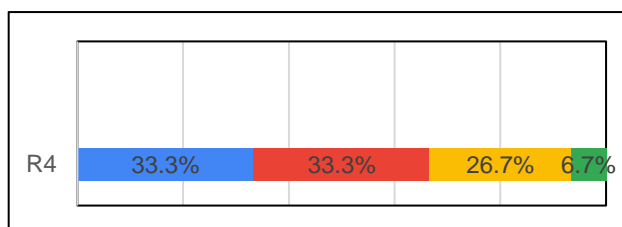
Q1 将来希望している職業、進路を教えてください。

職業	R4
教員（内英語教員1）	3
保育士、幼稚園教諭	1
打楽器奏者	1
社会保険労務士	1
航空業界、日本語教師	1
看護師	1
会社員、職種未定	1
介護福祉士	1
美容師	1
ネイリスト	1
未定	3



Q2-1 「Globe」（英語）の授業は好きでしたか。

回答	R4
好きだった	33.3%
少し好きだった	33.3%
あまり好きではなかった	26.7%
好きではなかった	6.7%



Q2-2 その理由を教えてください。

回答	R4
英語が好き	22.2%
ALTが国際色豊か	11.1%
勉強が苦手だから	16.7%
英語が好きではない	11.1%
異文化への興味	27.8%
英語とGlobeに変化はなかった	5.6%
未回答	5.6%

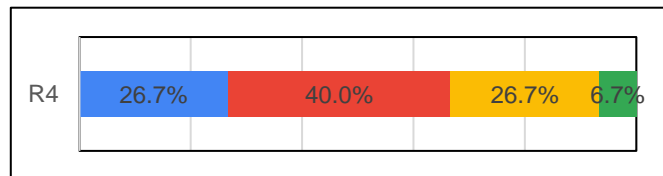
Q3-1 「Globe」の授業で印象に残っている内容を教えてください。

印象に残っている内容	その理由
グローブの活動ではないけど、世界の給食が好きでした。	どの国の料理もすごく美味しかったから。文化を聞くことはあったけど実際に体験する
ペアワークをしたこと。	楽しくなるかなと思ったから。
外部講師の方からお話を聞くこと	普段聞かないような、実際に社会で活躍している人たちの話を聞けるから
ある事柄について調べて、英語で発表する授業	英語で調べ学習をすることがあまりなかったから

外国の方を交えたゲームのようなもの	英語でなんとか頑張って話しながら、授業を進めていくのが楽しかった。
教科書の暗唱テスト	教科書の文を理解しながら覚えていて、テストの時に役立った記憶があるから。
特にない	従来の英語の授業との大きな変化があったとは感じなかったので特にありません。
ALTが主とした授業	ゲームなどをやっていたから
リスニング	なんとなくのニュアンスで理解出来たから

Q4-1 「Globe」の授業で今の自分に役立っていることはありますか。

回答	R4
ある	26.7%
少しある	40.0%
あまりない	26.7%
ない	6.7%



Q4-2 それは、どんなことですか。

基本的にどんな人も受け入れて、話せるようになるし、誰とでもとりあえず話せます。あとはオープンな感じになりました。
現在、大学の英語の授業で学んだことが役立っている。
英語でのコミュニケーション
抵抗なく、外国の方と接することができるようになったと感じる。
文法や語彙などの基礎技能
少しだけ外国人とのコミュニケーションができる
少しなら英語がわかること
観光

Q5 自分の夢をかなえるために、小学校・中学校からやっておきたかった学習はありますか。

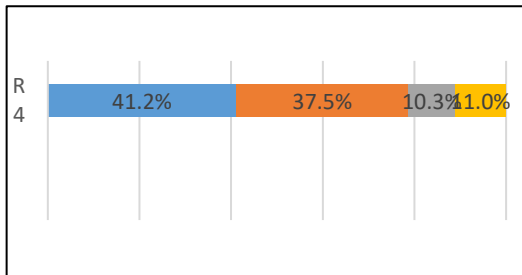
多くの職業について知ること
心理学
自分の興味に合わせて学習内容を選択できる、フィールドワーク
国語
言語学習
学ぶ勉強と点を取る勉強のうちの学ぶ方の勉強
英語の勉強はもっとしっかりやっておけばよかった
英語だけでなく色々な言語に触れてみたかったなと思いました。
英会話の練習はもっと日常的にやっていたかったと思う。
マナー(敬語とか)
ネイティブの英語を聞く、中学英語でも使いこなせば話せることを知ってそれで話すこと。
スピーキングとリスニングは小学校からやっておきたかったです。私の大学には外国語大学だからというのがありますが、周りは英語がある程度話せる人が多いです。また、留学生との交流が多いため、英語は必須です。日本式の文法や語彙を学ぶ勉強や試験のための英語ではなく、もっとスピーキングやリスニングに重点を置いた生活のための英語を早いうちからやっておきたかったというのが正直なところ
特にない

保護者アンケート

A	B	C	D
よく	まあまあ	あまり	ない

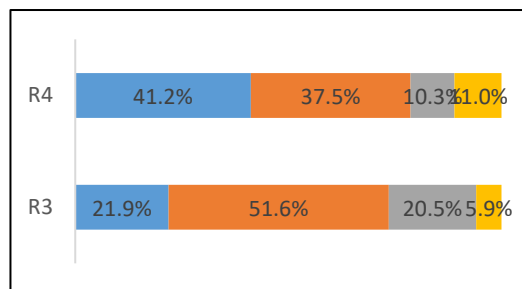
Q1 「Globe」の取組を知っていますか。

	R4
A	41.2%
B	37.5%
C	10.3%
D	11.0%



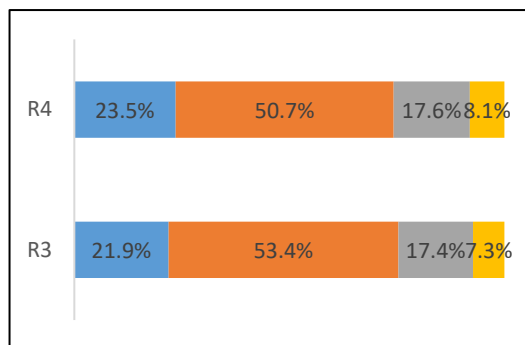
Q2 地域の行事に興味・関心をもち、参加している。

	R3	R4
A	21.9%	41.2%
B	51.6%	37.5%
C	20.5%	10.3%
D	5.9%	11.0%



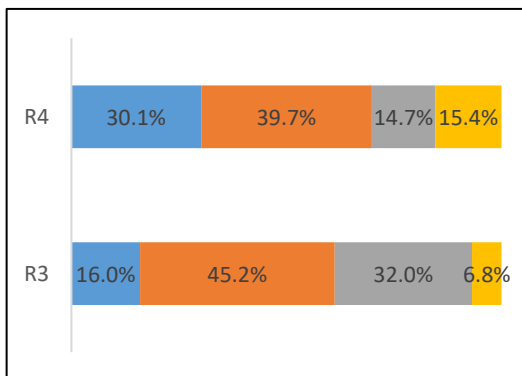
Q3 Globeの授業について話をしている。

	R3	R4
A	21.9%	23.5%
B	53.4%	50.7%
C	17.4%	17.6%
D	7.3%	8.1%



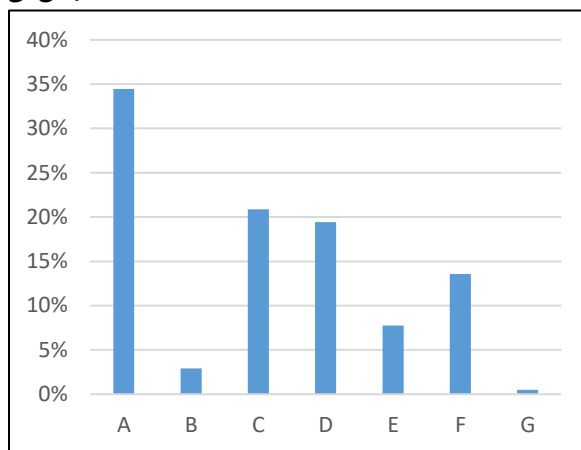
Q4 外国の文化や歴史、社会について話をする。

	R3	R4
A	16.0%	30.1%
B	45.2%	39.7%
C	32.0%	14.7%
D	6.8%	15.4%



4 東川町で進めている国際教育の取組で知っているもの

	東川町の取組	R4
A	めだかのクラブ	34.5%
B	ティ アンド トーク(Tea and Talk)	2.9%
C	ALTによる英会話教室	20.9%
D	国際交流員 (CIR)によるイベント	19.4%
E	インターナショナルクラブ (中学校)	7.8%
F	外国との交流	13.6%
G	その他	0.5%



5 東川町の子どもたちは、将来どのように育ててほしいですか。

・思いやりのある優しい子

色々な交流があり、情報に左右される事の無い

他の国のことも考えられる子どもになってほしい。

日本の歴史や文化のことも良く理解し、海外の情勢にも目を向けられるようになってほしい。東川は海外の方も多く住む町なので、それを生かして海外の人ともなんの隔たりも感じず交流し、他国の文化、自国英語を話せるようになってくれたら嬉しい。

色々な国や文化、人を身近に感じられる様になってくれたらいいと思います。

人それぞれの価値観、文化について、自分に対しても他人に対しても、その多様性を尊重し、認めることができ、他人と信頼関係を創れる大人に育ててほしい。

海外の方とのコミュニケーションを恐れることなく、カタコトでもいいから積極的に交流できるようになって欲しい。話せなくて当たり前、ネイティブを目指すのではなく、異文化への興味関心、海外の人に話しかけられても堂々としていられるような子に育ててほしい。

偏見のない正しい知識を身につけて欲しい

日本だけでなく色々な世界がある事を知って、自分の思うように生きてほしい。

東川町に来ている外国の方々と道端で会った時にフレンドリーに話しかけられる様になれば良いですね。

英語が話せたら最高です。3歳までに耳を慣れさせるのが重要みたいなので未満児から有れば尚更いいかなとは思う。日本語学校があるから、交流する場所が有ればいいかなと思う。国際的に活躍できる力が自分にはないので視野を広く持てる人になって欲しいです。

自立した人

のびのびと自分の意見を持ち、相手の話も聴け考え抜ける子どもたちになってほしい。

分け隔てなく交流できる子供

国際理解のある、幅広い教養を身につけてほしい。

何事にもチャレンジしようとする人間になってほしい

子供が外国の方に偏見なく日常会話のように話せる日が来たら良いです、それと共に親が話せない時代の方が多いので自分も含め沢山の国の言葉が話せたらもっと子供が興味持つのではないかなと思います、今更私は英語を覚えたいですが脳がついていかないようです(➤◩◪)

英語を話せるってことよりも、いろんな国の人と交流して、いろんな人種がいることが当たり前の感覚になってほしい

世界に目を向けいろんな文化に触れてほしい。そのために、気軽に行き来できる行動力やコミュニケーション能力をつけてほしい。

他文化を認め、いろんな国を知り、人を知り、自ら学んでいってほしい

どんな国の人達にも緊張せずコミュニケーションがとれるようになれると良いと思います
自分の好きなこと、興味のあることを知り、前向きに挑戦できる子。様々な考え方を理解し、自分の考えを伝えることができる子。

それぞれの個性を大切に伸ばし自由に自分を表現出来るように育ててほしい

広い視野で考える子になってほしい

自分の考えを伝えられる人に、いろんな意見を聞ける人に

多様性を認められるような人になって欲しい

やりたいことをのびのびとやれるように、視野を広く持って選択肢を広げていって欲しい

外国の文化に触れながら楽しく過ごせると良いなと思います

世界に視野を向け、興味を抱き、自国とは違う文化や習慣にも柔軟に受け入れ対応出来る

自分の考えをしっかりと伝えられる。自分のやりたいことに向かって行動する。

英語力を気にせず、外国人でも臆せずに話せるようになってもらいたいです。

自然と人に感謝し世界に羽ばたける子

宗教、肌の色、母国語、他の地域から来た人達、みんな自分とは違って当たり前だと、差別なく、考えて行動出来る子になってもらいたい。

世界文化、多様性など世界が広いことを知った上で、自分の進みたい道を見極めて歩んでいける子
健康で楽しい毎日を過ごしてほしい。

たくさんの経験から心豊かな子どもに育ててほしい。

多様な文化を理解して、のびのびと何にでもチャレンジできる子になってほしいです。

どんな事でも積極的に取り組んでみんなに優しい子に育てて欲しい

何事にも意欲的に取り組める子

外国の人々と、会話出来るように育てて欲しい

自国だけではなく他国の事も興味があり、英語を話せるのが普通になって欲しいです。

国際社会で分け隔てなく交流できる人になってほしい。

厚い待遇の中で伸び伸び育てて欲しい。

個性を大切に、自分にしか出せないカラーを持ちながら全員に好かれる事は無理だから自分を大切にしてくれる人を大切に出来る恩返し、恩送りが出来る人間。

東川には外国の方が多くいるので、学校で交流の場などがあると良いと思います。外国語になれ、外国の方と接してれば、子供達が大人になったときに、海外で仕事をしたり、海外の方と身近に接することができるのかもしれないね。東川で学んだことを、将来いかせると良いと思います。

世界の様々な国の人々と共に平和活動に取り組んで欲しいです。

故郷を愛し、異なる文化にも興味を持って広い視野を持てたらいいと思います。

素直で頭の回転の速い子。周りを見て察することのできる子。

普通に

広い視野を持って育てて欲しい

ふるさとを大切にしながらも、場所は関係なく広い視野で活躍してほしいと思います。

地元では無いです

自分の特技や良さを生かして伸び伸びと育ててほしい。

グローブの活動に参加できること、本当にありがたいです。これからも続けてほしいです。どんな先生がセンターに来てくれているのか、保護者にもお便りで先生たちの簡単なプロフィールなど伝えてくれると嬉しいです。子供と家でグローブについてや海外の話がしやくすくなるかと思いました。

常識があって人間として正しい人

国は関係なく仲良くなれる大人になって欲しいと思います。

好きな事をのびのび伸ばせるように

国際社会に目を向けイキイキと育ててほしい

世界の誰とでも、物おじせずコミュニケーションをとり、先入観や偏見で他人を判断したりしない人になって欲しいです。自分に自信を持って、好きなことにどんどんチャレンジしていける人、そして周りも世界も、そういう環境であって欲しいです。

東川の良さを理解し、外国でも地元自慢ができるような子
自分で考え行動することができる

自分の意見を伝えることができる
差別なく助け合えるように

自分で考え判断、行動が出来る

たくさん国があり、多様な文化や人がおり、自分と違っていてもお互いに理解、認められることが自然にできる子になってほしいです。

外国だけでなく、日本の中でも多様な文化や人を受け入れる人になってほしい。

自分を大好きに育ててほしいです。

自分の住んでいる場所だけがすべてではないこと。世界には、考え方、習慣、文化など、自分とは真逆であることもある事を知ってほしい。そんな柔軟性を持った理解力のある人になってほしいと願っています。

グローバルな視点を持ち、地元を大切にする子ども。

英語の楽しさを体感してほしい（中学に入るとどうしても本格的な授業になるので小学校の楽しかったGlobeの印象がなくなってしまう、面白くないと話しています。）

自分の頭で考えて行動できる人 自由でのびのびとした感覚を持った人広い視野を持つ人に育てて欲しいです

物怖じしないでどんな人とも会話できるようになってほしい。

東川は幼少の頃から様々な異文化と触れられる希少な町なので、良い所だけでなく多角的に歴史や文化を捉え、受容出来る大らかな気持ちが育てば良いと思います。

多様な社会に対応できるようになって欲しい。いろいろな差別がないよう、自分も相手も認め大切にし、そのままの自分を愛せる人になって欲しいです。

視野広く見聞き、体感し

自らチャレンジする事の充実感、達成感を持てるようになってもらいたいです

世界には色々な国や地域があることを知り、広い視野を持つ。他国に興味を持ち、コミュニケーションが取れる子供に、東川町にいながら育ってくれたら素晴らしいと思います。

広い視野を持った子

色々な国の人・文化と触れ合える環境があればいい

ふるさとを大切に思う気持ちが持てること

部活動や学業を頑張してほしい。周りのみんなと仲良くできる子になってほしい。

自分のやりたい事を沢山経験してほしい 東川に住んでいて良かったと感じられる経験が幼少期からできたらいいと思う

英語など他国の言語に抵抗感を持つことなく楽しく学び、どんな国の人とでもコミュニケーションをとれるようになると良いと思う

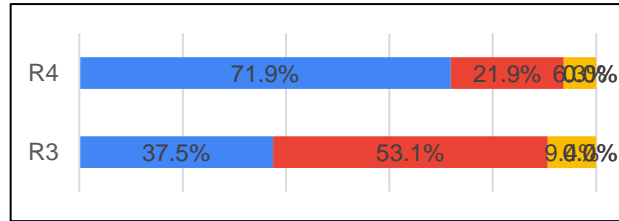
国籍関係なく仲良くなれる人

地域アンケート

A	B	C	D	E
よく	ある	あまり	ない	わからない

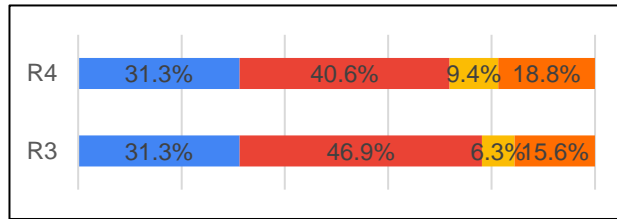
Q1 「Globe」の取組をしていますか。

	R3	R4
A	37.5%	71.9%
B	53.1%	21.9%
C	9.4%	6.3%
D	0.0%	0.0%
E	0.0%	0.0%



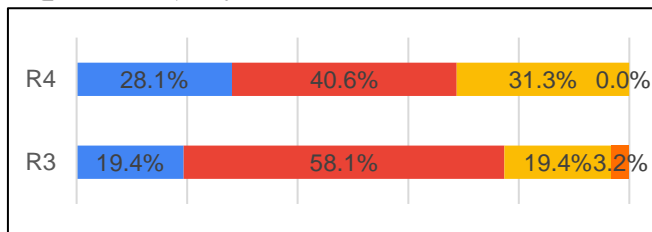
Q2 東川の子供たちは、地域の行事に興味・感心をもって参加していますか。

	R3	R4
A	31.3%	31.3%
B	46.9%	40.6%
C	6.3%	9.4%
D	0.0%	0.0%
E	15.6%	18.8%



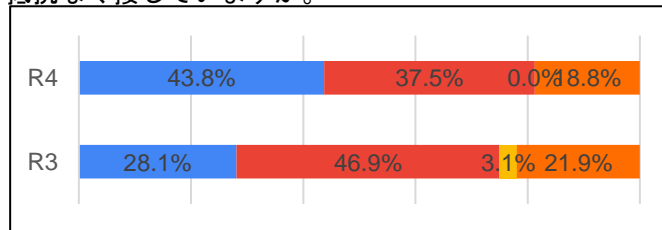
Q3 東川の子供たちは、地域の方にあいさつをしていますか。

	R3	R4
A	19.4%	28.1%
B	58.1%	40.6%
C	19.4%	31.3%
D	0.0%	0.0%
E	3.2%	0.0%



Q4 東川の子供たちは、海外の方と偏見や抵抗なく接していますか。

	R3	R4
A	28.1%	43.8%
B	46.9%	37.5%
C	3.1%	0.0%
D	0.0%	0.0%
E	21.9%	18.8%



Q5 東川の子供たちについて、どのような印象をおもちですか。

・ 明るい、積極的、外国への抵抗感が少ない
・ よく挨拶をする
・ 私はムスリム（イスラム教徒）で、頭にヒジャブ（布）巻いています。東川町の小学生たちに道端で会うたびに挨拶してくれます。知っている子も普通に私の名前を呼んで一緒に歩いているいろいろな話をしてくれます。中学生とか高校生にも全く二度見されず、たまに挨拶もしてくれます。日本のほかの県に何年か住んだことがあり、上京する時にはよくジロジロ見られたり、二度にされたりしていますが、東川町には、二度見やジロジロ見られたりすることなく、素直に「なんでかぶっているの」と質問してくれてすごうれしかったです。やはり、興味があったり、知らなかったりするときは、本人に聞くのが正しいと思います。日本人と見た目が違ってても、東川ではとても住みやすいです。グローブの授業のおかげで子どもたちも、外国人慣れしてとてもいい教育環境だと思います。
・ のびのびと育てている
・ とても元気で明るい。家庭学習の時間が少ない。
・ のびのび暮らしてる印象
・ 明るく素直な子が多いと思いますが、自ら進んであいさつするようなところは苦手なような気がします
・ 元気
・ 真面目で、大切に育てられていると感じます。良いことだと思いますが、少し繊細に育てられているので東川を離れたとき、世間の荒波に晒されたときがちょっとだけ心配です。手厚すぎるのも子どものためになるのか、難しい判断だと思います。
・ 素直
・ 外国人と接するのがあたりまえになっている。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 素直で礼儀正しい
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東川の子供だから...という意識はあまりありませんが、移住者家族が増えており様々な個性の出入りが常にある印象です。小学生は違う学年とも一緒に遊ぶ姿も見受けられます。年齢が上にあがるにつれ、目標を見つけつつある子、現実に対応出来なくなり閉ざしてしまう子、今は後者が増えている印象です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい子ども達は比較的元気に遊んでいると思いますが、中学校位になると、余り活気がないように感じます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 恥ずかしがり屋ではありますが、よく交流はしていると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少年団の活動を頑張っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 直接話をする機会がないのでよくわかりません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 素直。学力が高い。外国人とも抵抗なく接することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東川に限らず北海道の子供達は本州に比べるといい教育環境にあり、のびのびと暮らしていると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気で活発な子が多いなと感じます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ やはり小規模校と東小で差はあるがさまざまなことに積極的に行動できる子が多い印象。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生は物おじせず周りの人に対してオープンな印象があります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住んでいる地域によって社交性など多少違いがあるが、素直な子が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気に挨拶してくれる感じです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健やかで明るい子供たち
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児センターからグローブの教育を通して、他国の方と接する事で、コミュニケーションの能力は高い印象があります。
<ul style="list-style-type: none"> ・
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の地域とあまり変わりはないと思いますが、外でよく遊んでいるという印象はあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな町や学校とは違い、目が届き、良い意味で隠れる場所がなく、みんな元気に挨拶し、授業や発表でも各自一生懸命やっているように見えています。この小規模によって隠れてしまうことなく、楽しく学校へ通うことができている子供たちもすくなくないと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ Q4で英語圏内の方とは親しくできるが、それ以外はあまり接していない気がします。

Q6 東川の子供たちが将来どのように育ってほしいと思いますか。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分以外のさまざまな視点から物事を捉え、考えられる人。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 色々な国の文化や習慣、違いを知って、多様な価値観を持つ国際人として育ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の文化や価値観を持ちながら、他人あるいは他国の方と自然に交流してほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ のびのびと育ってほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語は、英語の他にも複数学んでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 立派に自立した大人になってほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に対する偏見を持つことなく、どんな人に対しても相手をリスペクトする心を持って接することのできる人になってほしいです。また、自分の目標に向けて努力を惜しまない人にもなってほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ やりたいこと、熱中できることを見つけ、やりたいことができたらいいな、と思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな場所へ巣立ったり、旅立ったりしても、東川を思い出したり、東川って凄いな。と思えるように、東川にある色々なものを見て聞いて体験して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の町に誇りを持って、世界中で活躍して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で判断した事に責任が持てる大人
<ul style="list-style-type: none"> ・ IT化が進む時代に生まれ、これからもその社会の中で活躍する大人になる事と思います。ですが仮想空間だけではなくリアルな人と人とのコミュニケーション・関わりから辛さや困難を乗り越える知恵や喜怒哀楽、人としての心の学びを経験し、おおらかな大人になって欲しいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校でもIT化が進んで、他の人と関わりが少なくなり、直接話し合う時間が減ると相手の感情を読み取る力が弱まり、思いやりや、話す事が苦手にならないか心配です。どんな時でも、きちんと自分の意見を述べ、相手の話も聞く人になってほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元地域を誇りに思ってもらい、いずれは、地元に戻って来て、人生を過ごして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の文化を大切に作る人間に育ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ どの国へ行ってもお互いに理解しあえるようになってもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元を思いつつ国内外へ羽ばたいてほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と地域の人を大切に、同世代の人たちに引け目を取ることなくのびのびと育ってほしいと思

<ul style="list-style-type: none"> 相手のことを思いやり、優しく助け合える子。何事にも進んで挑戦し色々な分野で活躍して欲しいです。
<ul style="list-style-type: none"> 町、国にとらわれることなく自由に育ってほしい
<ul style="list-style-type: none"> それぞれに目標や夢を持って、自分で何が出来るのか、どうすれば良くなるのか考えられる子になってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ふるさと東川町に誇りを持って、地元または各地でいきいきと前向きに生活できる人に育ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 感謝と思いやりの心を持って、何にでもチャレンジして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 人によって目指すものは違うでしょうが東川での生活は自然や地域と触れ合う機会が大きいと思います。後、最近の傾向ですが、高齢者が多く足腰弱いを見かねて席を譲るなどのいたわりも見受けられます。さりげない日常が色々なことが子供にいい影響を与えるのではないかと思います。ここで得た楽しみや喜びが、将来役に立ってくれればと思います。
<ul style="list-style-type: none"> どのような環境でも、周りと支え合い生きて行ける子。自立が出来、東川の魅力を伝えられる子
<ul style="list-style-type: none"> 自分が実現したいと思うことを他者と共に形にする知恵を持った人間に育ってほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> 上記にもつながることですが、もし、大きな町や学校では皆の陰に隠れてしまいそうな子供も、自分の考えや目標を発表しやすい環境であると思います。また、こんな田舎なのに街中には外国人が、普通に歩いているというのは素晴らしいですね。外国人を見かけたら話しかけていくような育ち方をしていければ最高ですね。
<ul style="list-style-type: none"> どの国の人でもどんな言語であろうとも心をかよわすことができるように育ってほしいと思います。

Q7 「Globe」に期待することをお書きください。

<ul style="list-style-type: none"> 自分以外の視点がある、ということの気付きを沢山もてるような幅広い取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 色々な国の文化や習慣、違いを知って、多様な価値観を身につけられるようにしてほしい。また、小さい頃から英語に触れることによって、英語が勉強して身につけるものではなく、いろいろな人と楽しく話すためのコミュニケーションツールという意識を育ててほしい。
<ul style="list-style-type: none"> GLOBEをすることによって、お互いの「違い」を理解し、平和に繋げたらいいなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 今まで通り、続けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 国際感覚に優れた人材育成に貢献してほしい
<ul style="list-style-type: none"> 外国の文化を尊重し、外国の人とも友好的に接する態度を育ててほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> 目先の点数でなく、英語が好きになるような内容にして欲しいです。好きなら、自分で勝手に学習していくし、目指すものも出来てくると思います。
<ul style="list-style-type: none"> 東川でしか出来ないようなことや、東川ならではのものを、貴重な授業時数を使う意味のあるものとして、子どもたちにも一つでも多くの経験を積ませてあげられる機会になるかと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> 国境のない考え方を身につけて、国や民族の争いのない社会になることを期待します。
<ul style="list-style-type: none"> 多様性について、より身近に感じる事が出来ること
<ul style="list-style-type: none"> 東川は特に多様な国の方々に出会う機会が多い恵まれた町。言語も文化にも自然に触れ、見た目が違ってもお互いを尊重し敬う心や、臆する事なく自分を表現し自信を持って更に新しい世界へ挑戦する力を養ってほしいと願っています。
<ul style="list-style-type: none"> これからも、いろいろな国の人との交流を続けてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> たくさんの方々との交流を深めてもらい、globeで学んだことが活かされれば、嬉しいです。
<ul style="list-style-type: none"> なるべく多くの他国の文化に触れるようにしてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> 外国の文化に興味を持てるようにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 日常の英会話ができるレベルと世界を知る人材育成
<ul style="list-style-type: none"> 今回初めてGlobeのことを知りましたが、この取り組みが目指していることが実ることを期待しています。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 他国の色々な文化を知って欲しいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語に対する苦手意識がつかない環境作りを期待しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちのコミュニケーション能力が高くなっていると感じます。小学生は外国人に対しても抵抗感なく喜んで寄っていくような場面が見られますので、世界の様子がそれぞれ違うという事を知って、広い視野や他人を認める思考を持ってほしいです。 ただ一つ、中学一年生になってからの英語で気になることがあります。コミュニケーションをとる為に小学校で覚えた口頭での表現を、中学校での読む、書くといった内容が入ることで、別の思考と捉えているのか（どうかは実際はわかりませんが）、せっかく覚えた表現を文字に表すところで困難を感じている生徒を多数見受けられます。ローマ字、英語それぞれのアルファベットの使い方、アルファベットに対する音の認識がもう少し6年生の段階でフォローがあれば、中学校でのGLOBEへ少し楽に移行できるのではないのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外の人、文化に偏見や隔たりを感じないで受け入れる心を育てると共に、英語を話すことを臆することなくできるような学習機会として期待します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の個性を活かして将来なら目的の選択肢が広がるような取り組みを期待しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の中の自分という観点からGlobeに大いに期待します。しかし言葉や文化が違って「家族の中の自分」・「地域の中の自分」というのは世界のどこの人でも同じなのではないのでしょうか。その自分のいる国・地域との違いにカルチャーショックを受けつつも、でも心は同じだなと子供たちが感じてくれれば、どんな受け取り方であれGlobeは人によい影響を与えたことになるかと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ グローブの教育による強みを子供達にしっかり伝えて欲しい。なぜ必要なのか理解して学ぶ事で更に能力アップに繋がります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な理念には大いに賛同します。教育委員会の方々の日頃のご努力に心から敬意を表します。また教職員の方々も働き方改革などと言われる中で、研修等をたくさん積んでこられたのでしょうから、並々ならぬご努力だったことと思います。心より感謝申し上げます。今の子どもたちが大人になっている頃には、多様性理解が当たり前になってほしいですし、東川町の子どもたちにはその担い手になってほしいものです。1点気になる点は、東川町が目指している「多文化共生」が、少し外国文化のみに偏り過ぎているように感じることです。例えば、障がいのある方や様々な生きづらさを抱えた人など、私たちの身近なところにも異文化は存在していて、同じ日本人といっても決して一様ではありません。そういったことを丁寧に見つめ直すことの中に、いじめや不登校といった問題を解決していくヒントがあるようにも思います。東川町には発達支援センターがありますが、場所が東神楽町とのことで、知り合いに教えてもらうまでその存在を知らなかったという保護者がいました。勧められて相談に行ったらとても丁寧で素晴らしいケアをしてくださったとその保護者はおっしゃっていました。しかし、そこで働いている先生方はほとんどが正職員ではなく非正規で働いていると聞きました。乳幼児期という大切な時期の子育てを支えてくださっているのに、小中学校の先生と待遇が異なるのはどうしてなのだろう、と率直に思いました。このような素晴らしい施設があるにもかかわらず、職員の方々に少し気の毒な気がしました。これからも東川町の教育にますます期待しています。あらゆる人たちにとって居心地のよい、懐の広い町になるといいなと思いますし、東川町ならそれが実現できると思っています。町民と共に頑張りましょう！
<ul style="list-style-type: none"> ・ globeは、英語力をつけること。外国人にもおなじみのこと。コミュニケーションを期待します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東川町には日本語学校があり、国際色豊かな子供に成長してほしいと思います。

教職員アンケート記述

【記述回答】

Q6-2どのような改善が必要ですか。

小と中での取組の差が5年間の開発指定及び特例校指定により、接続、連携がスムーズになるとよい。

児童の実態に合わせて。

コロナがはやっている時対応カリキュラム。

文法事項なども少々。

異文化交流を通して、よりよい人間関係を構築できる資質・能力を育成については「GLOBEが好き」という回答が増えていることから成果が出ていることは頷けます。

今後、「探究型の学び」が求められる中で、一斉授業の形態から発展させることが必要になると考えます。

つまり、日常授業の中で英語を活用してコミュニケーションをとる場面はあっても、それは中心となる活動ではなく「手段」だということを明確にしたほうがよいと考えます。

例をあげると、本校で福祉をテーマにして外部人材を活用した出前授業がありました。日本語を母国語とする探究的な学習（講義と体験学習）でした。GLOBE授業だからといって始めと終わりに英語の挨拶や歌にあわせた数字の習得の活動を入れることは、学習の本筋には3関係がないということです。（フランス料理の前菜でファーストフードを食べるようなものです。）そういう精査が必要だと考えますが、いかがでしょうか。

研究開発校・教育課程特例校の指定が外れ、このままのカリキュラムを継続するわけにはいかないでしょう。総合的な学習の時間（＋70時間）は、探究的な学習として再編することが必要になります。具体的には、35時間の外国語活動・外国語に戻した際に、英語を公用語とするコミュニケーションの手段として学びを集約・再編することが求められます。低学年の35時間は余剰時数の中でGLOBEカリキュラムを継続、外国語活動・外国語においてはGLOBE授業で培ったノウハウを生かしていくことが大切だと考えます。

「GLOBE」が「教科横断的な学習」の推進を牽引してきたことは間違いありません。このアドバンテージを生かして、学校間連携・地域連携の視点で内容を見直し（＝カリキュラム・マネジメント）が求められます。

夏の研修会で教科等とのつながりについて話し合いましたが、総合的な学習の時間とのつながりをもたせ、より伝えたい気持ちになるよう内容を充実させられるといいと思います。

少人数だと発信する相手や機会が限定されてしまう。交流学习などができるとよい。

高学年での楽しい授業と学べる授業の両立＝知りたい、学びたい態度（主体性）を興す準備展開。

・教材をそろえる。・指導案の見直し。

中学校ではGlobe担当の時数が多いので、負担軽減に向けた改善をした方がよい。代案は思いつきませんが、現在、中学校1年生のGlobeを担当しています。生徒達の様子をみると、小学校で育まれた「聞く力」「話す力」「読む力」は着実に力をつけてきています。しかし、残念ながら、圧倒的に「書く力」に課題があると実感しています。自分の考えや意見を表現する以前の、基礎的な文法事項はもとより単語が正しく書くことができない生徒が多くみられます。授業や課題等で工夫して指し示していますが、何より、積み重ねの練習や家庭学習の習慣が定着していない生徒が少なからずみられます。「Globe」という教科は、広い視野で物事を考えたり、郷土愛や世界の問題に目を向ける1魅力的なプログラムだと思いますが、それ以前の基礎的な力を伸ばしたいと考えます。

教科横断的な視点での見直し、及び他教科との関連の意識の強化。さらに総合的な学習の時間としての意識を教職員で共有し、中学校ではGlobe担当に過大な負担がかからないよう、総合の要素の強い部分の役割分担を明確にする体制づくりが必要と思われる。

中学校では英語化をベースにしているため、英語の先生が抱えてしまう。英語の先生を中心に教科横断的な計画を立てるにしても厳しさがあるのではないか。

Q8 今後、新教科「Globe」が一層充実するための課題は何ですか。

義務9年間を見通し、ゴールに向かうつながり。中3での1つの成果。

遠隔地の先生や現地とつなぐ人材ネットワークの構築。

改善しながら進んでいく今のスタイルでよいと思います。

低学力の子の対応

今後、継続か、元に戻すのか。

人員の確保

他教科とのつながりがもっと必要

担任の英語力

今後も今の状態がキープできること。

ARTやJETが充実している今、これ以上望むことはない。

毎年実践が重ねられ、Globeの授業(指導方法と指導内容)が次第に定着しつつあると感じます。今後も継続し、実践を積み上げることが必要と思います。
<p>問いとは外れますが、なぜ不登校が増えるのかは課題の一つだと思います。GLOBEの授業があるから学校に来るといふ子どもがいるなら、これは極めて価値のある学びを提供していることになります。とはいえ、社会の進化・発展に学校の授業が追いついていない、そもそも学校の枠組みがあわないことが前提にあります。今、子どもにとって価値ある学びのあり方が問われているのだと考えます。</p> <p>では、どんな学びが求められているのでしょうか。それは従来の知識・技能の取得型を中心とした一斉授業ではなく、子どもがやりたい学びを突き詰めた先にあるものと考えます。例えば、子どもの興味・関心に基づく個別最適な学びを発展させた先に、協働的な学びの場の設定する、キャリア教育と関連づけたプレゼンテーションなどが想定されます。</p> <p>カリキュラム編成については、児童・生徒の興味・関心を高めるガイダンス（企業人など地域人材を活用した出前授業など）が入り口になり、それぞれが自分の取り組みたいテーマに応じて学習計画をつくっていくこと。</p> <p>教師の役割としては、教師はファシリテーターとして子どもの自己選択による学びをサポートするイメージをもつこと。「自由進度学習」とまでいかなくても、大きな枠組みの中で、道先案内役・相談役になること。また、GLOBEカリキュラムにもあるような地域人材を積極的に活用するなど学びにつながる情報提供の場をつくるのが重要になります。</p> <p>ただし、これはGLOBEだけで完結するものではなく、教科の枠組みを外した中で論議することものと考えます。</p>
担任が自分で授業を進められること
Globeを進めるための人材の確保
教科としての外国語の知識や技能が身につくような機会があるとよいと考える。 聴覚的ワーキングメモリが低く、支援を要する児童に対しての方法を見つけられるとよい。
担任による授業、ゲストの効果的活用（連携、手配を惜しまない教師の姿勢）。各小学校のカリキュラムの差をなくす（カリキュラム通りの実践）。
低学年の指導について(教科としての指導が難しいのでアイデアが必要)
新しく来た先生方でもすぐに授業ができるように、授業案や教材を十分に共有すること。
中学校ではGlobe担当の時数が多いので、負担軽減に向けた改善をした方がよい。代案は思いつきませんが。
教職員サイドの理解と必要性についての科学的検証
特になし
職員の間で「Globe科＝英語科」という概念がなくなること。
目的とその手段の共有化、及び実践
学力的に厳しい生徒でも、自分なりに取り組める内容と評価を。
いかにその時点での生徒の学習段階にあわせた活動にしていくか
他教科、他領域との関連をわかりやすく。Globe科担当より具体的に「この教科ではここでこうした取組が効果的」という例が示されるとありがたい。

Q9 「Globe」に関わって、ご意見・ご質問等ありましたらお書きください。

東川町の教育施策である国際教育を充実させるためにも、無理のない系統的、かつ継続的な取組が大切である。そのために、小・中の職員の取り組む意識、共有が重要だと考える。
来年度から研修から外したとして先生方が今の認知度を共有できるのか。自分としては適時、授業公開がない限りカリキュラム構成や幼保小中高の接続の意識は薄れていくと感じている。
来年度以降、研修内容、回数、テーマはグローブ係から提案していただき、町の動向を踏まえた上で研修継続をするかを話し合いたい。
いつも、楽しい授業を提供して下さり、ありがとうございます。教材作り、他校との交渉などなど、感謝の気持ちでいっぱいです。
担任の負担にならないように進められたら良いと思います
いつも楽しい学習をありがとうございます。
いつも木村(智)先生、ルーシー先生が授業において指導・進行計画が確認でき、また、子どもたちがいつもnative Englishを耳にできることがありがたいです。
教師が学年の系統性を立ててつくったカリキュラムに基づく教育では対応できない時代が来ていることを、私たちが認知することが始まりになるかと思えます。情報収集はもちろん、新しい学びのあり方についての研修を企画してはいかがでしょうか。
<参考キーワード>探究学舎、クエスト・エデュケーション、ヒロック初等部、学習スタイル診断
東川町のALTなどの人材を生かした英語活動は大変いいと思います。このまま継続していけばいいと思いますが、継続できなくなる場合のアナウンスは早めをお願いしたいです。総合的な学習の教育課程を準備する関係にも関わってきます。

・自分の息子達が違う地域の学校に行っているのですが、東川の子と比べると、英語の知識や話す機会が少ないのか、外国語に対する“壁”が高いように感じました。東川は幼児センターから積み重ねで、“壁”が低くなっており、1よいと感じます。続けていくメリットはあるかと思えます。

授業を持っていないのでよくわからないことの方が多いのですが、楽しそうに活動している様子や臆することなく英語を話している子どもたちの様子を見てみると、小学校から英語に慣れたりいろいろな国の人と関わる活動のメリットは将来的に大きいのではないかという認識に、東川町に来てから変わりました。

今後の展望

中学校ではGlobe担当の時数が多いので、負担軽減に向けた改善をした方がよい。代案は思いつきませんが。詳しいことが全然わからないまま半年も過ぎてしまいました。申し訳ありません。

特になし

中学校の教科書の内容そのものが、私たちが目指している「Globe」に近づいてきています。また、今後は学力学習状況調査において、MEXCBT(メクビット)という文部科学省のシステムに接続して、中学校3年生外国語の「話すこと」調査が、一人一台端末により実施されることになりました。Q6-2で「話す力」はついてきていると回答しましたが、あくまでも躊躇することなく話す、しかし内容は「単語レベル」「一語レベル」の生徒が少なくありません。「英語科」としては、彼らの英語力を高めたいと強く思います。そこで「Globe科＝英語科」ではなく「Globe＝総合」がよりよいのでは、と考えます。

これからもよろしく願います。

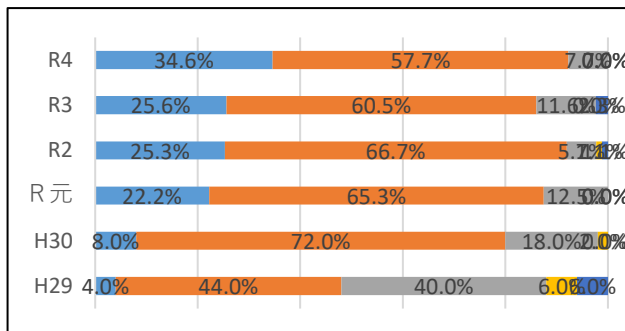
Writing活動では、書くことは書けますが、文法的な誤り、スペリングミスをする生徒も多いです。また、定型的な言い回しが多く、自分の考えを適切に表現することに苦労する生徒や、そもそも考えが浅く、一つの題材に深ぼりできていない生徒も中には見られます。Speakingでも同様です。基礎的な英語力を身に着けることと、英語力を使った発展的な学習の両立に悩んでいるところです。

教職員アンケート6年間の比較

A	B	C	D	E
よく	だいたい	あまり	ない	わからない

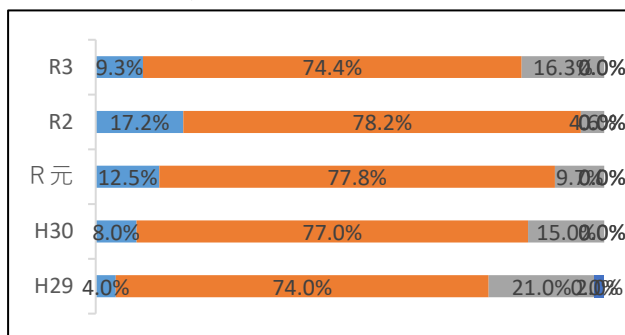
1 新教科「Globe」について単元構成や内容についてイメージがもてていますか。

	H29	H30	R元	R2	R3	R4
A	4.0%	8.0%	22.2%	25.3%	25.6%	34.6%
B	44.0%	72.0%	65.3%	66.7%	60.5%	57.7%
C	40.0%	18.0%	12.5%	5.7%	11.6%	7.7%
D	6.0%	2.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
E	6.0%	0.0%	0.0%	1.1%	2.3%	0.0%



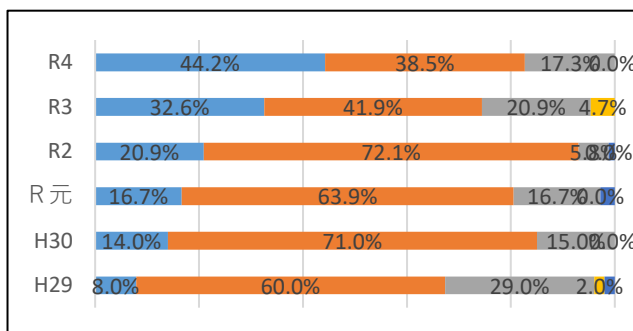
2 東川の特色を理解していますか。(R4見直し、削除)

	H29	H30	R元	R2	R3
A	4.0%	8.0%	12.5%	17.2%	9.3%
B	74.0%	77.0%	77.8%	78.2%	74.4%
C	21.0%	15.0%	9.7%	4.6%	16.3%
D	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
E	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



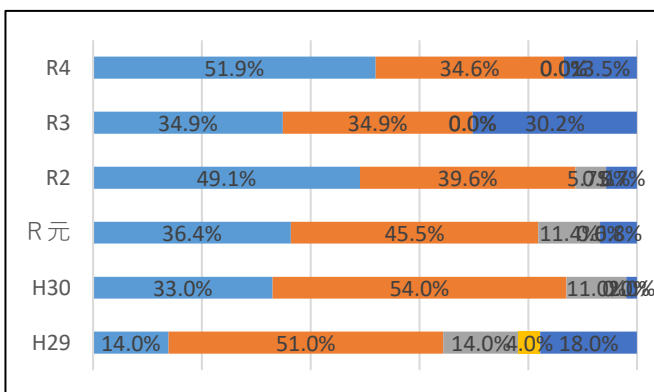
3 「Globe」の授業について、1単位時間の流れについてイメージがもてていますか。

	H29	H30	R元	R2	R3	R4
A	8.0%	14.0%	16.7%	20.9%	32.6%	44.2%
B	60.0%	71.0%	63.9%	72.1%	41.9%	38.5%
C	29.0%	15.0%	16.7%	5.8%	20.9%	17.3%
D	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	0.0%
E	2.0%	0.0%	2.8%	1.2%	0.0%	0.0%



4 Globeの授業は楽しいですか。☒

	H29	H30	R元	R2	R3	R4
A	14.0%	33.0%	36.4%	49.1%	34.9%	51.9%
B	51.0%	54.0%	45.5%	39.6%	34.9%	34.6%
C	14.0%	11.0%	11.4%	5.7%	0.0%	0.0%
D	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
E	18.0%	2.0%	6.8%	5.7%	30.2%	13.5%

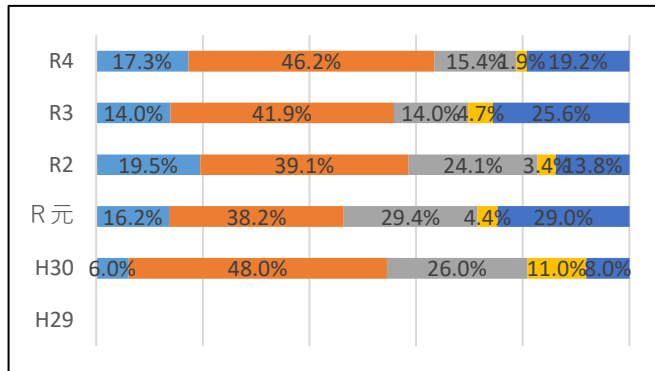


※小学校のみ

A	B	C	D	E
よく	だいたい	あまり	ない	わからない

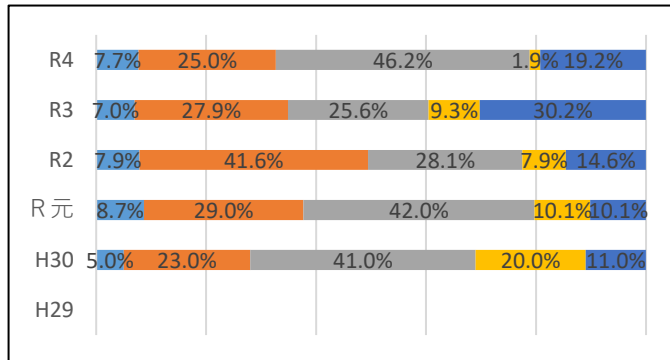
5 「Globe」に関する他教科・他領域の授業をするとき、「Globe」を意識して取り組んでいますか。

	H29	H30	R元	R2	R3	R4
A		6.0%	16.2%	19.5%	14.0%	17.3%
B		48.0%	38.2%	39.1%	41.9%	46.2%
C		26.0%	29.4%	24.1%	14.0%	15.4%
D		11.0%	4.4%	3.4%	4.7%	1.9%
E		8.0%	29.0%	13.8%	25.6%	19.2%



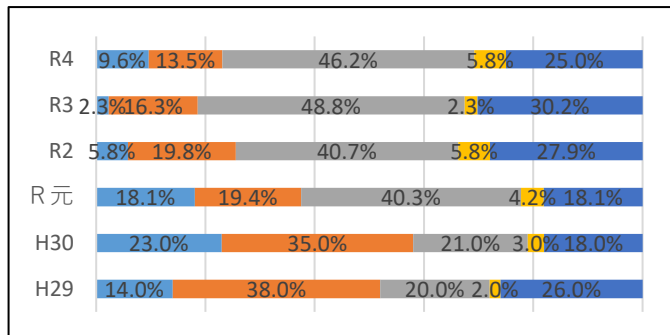
6 「Globe」の授業で異校種との縦の連携を意識して取り組んでいますか。

	H29	H30	R元	R2	R3	R4
A		5.0%	8.7%	7.9%	7.0%	7.7%
B		23.0%	29.0%	41.6%	27.9%	25.0%
C		41.0%	42.0%	28.1%	25.6%	46.2%
D		20.0%	10.1%	7.9%	9.3%	1.9%
E		11.0%	10.1%	14.6%	30.2%	19.2%



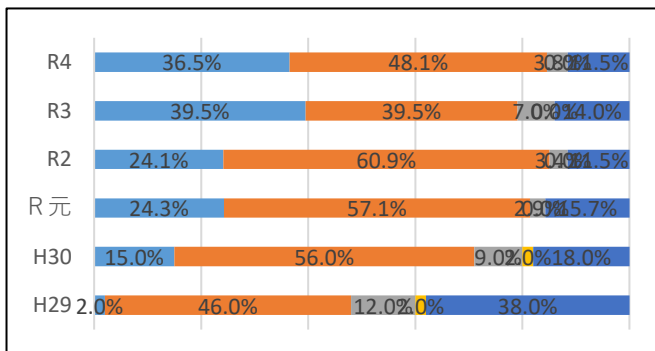
7 Globeの授業について改善する必要があると思いますか。

	H29	H30	R元	R2	R3	R4
A	14.0%	23.0%	18.1%	5.8%	2.3%	9.6%
B	38.0%	35.0%	19.4%	19.8%	16.3%	13.5%
C	20.0%	21.0%	40.3%	40.7%	48.8%	46.2%
D	2.0%	3.0%	4.2%	5.8%	2.3%	5.8%
E	26.0%	18.0%	18.1%	27.9%	30.2%	25.0%



8 「Globe」の目指す子供像の達成に向け、現在のカリキュラムは効果的だと思いますか。

	H29	H30	R元	R2	R3	R4
A	2.0%	15.0%	24.3%	24.1%	39.5%	36.5%
B	46.0%	56.0%	57.1%	60.9%	39.5%	48.1%
C	12.0%	9.0%	2.9%	3.4%	7.0%	3.8%
D	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
E	38.0%	18.0%	15.7%	11.5%	14.0%	11.5%



Globe の実践を振り返って（幼児センター）

幼児センターの一年間の実践を振り返って（年長児）

昨年度の年中時は、様々な活動（制作や散歩など）を一緒に楽しみながら ALT とかかわる中で、英語での絵本の読み聞かせなど多くの英単語に触れることが出来た。年長に進級してからも ALT の来園を楽しみにしている姿が多かった。

年長になるとクラス毎にプレイルームに集合し、ALT が前に立ち授業スタイルで実施する。挨拶から始まり、実際に自分達で英語を発音する機会が増え、積極的に大きな声で言える姿もあれば、恥ずかしさや自信の無さもあり、声を出すことが難しい様子も見られている。日常生活の挨拶や気分、天気などを毎回質問したり、食べ物や動物、季節のイベントなど子ども達が興味や関心を持ちやすい内容で行ってくれることで Globe の時間を楽しみにしたり、日常の遊びの中でも英単語を使う姿も見られている。



成果

- ・月に一度の活動ではあるが、様々な英単語に触れていく中で、知っている単語を発表したり、大きな声で発音したりする子が増えている。
- ・英語を聞く機会が増え、耳で音を聞いて確認し、模倣することで言える単語が増え、楽しさと共に自信にも繋がっている。
- ・身近な英単語が多いことで子ども達も積極的に取り組む姿が多く、英単語に合わせた動きや歌なども覚え、他国の文化にも触れることが出来た。

課題

- ・授業の始まりの挨拶時に、緊張や恥ずかしさ、英語での掛け合いのタイミングがつかめず、戸惑う姿も見られた。英語での挨拶を日常に取り入れる事で、改善出来た面もあるが、難しい姿もまだある。
- ・ALT からの授業内容はあるが、具体的なねらいが明記されてはいないので、その日のねらいを事前に ALT と確認していく必要がある。



令和4年度 東川小学校Globe振り返り

・成果 □課題

①「児童生徒の実態にあわせた教育課程の推進」に係って

- ・Globe を楽しいと感じている児童が依然として多い。楽しみながら異文化や外国語を学ぶ現在のカリキュラムを実態に合わせて修正しながら継続していきたい。
 - ・担任の先生が教科横断的な学習を意識している様子が見られる。また、様々な学年を担当してきた先生方には、他学年との繋がりの視点でカリキュラムを捉えていただいている。
 - ・Globe は、児童の非認知能力や内的成長、友達との関わり等、学級経営と密接に関わる。今後も学級担任中心の授業であることが望ましい。学年事情で担任が授業に入れない場合も、打ち合わせには参加する。JTE と ALT、特別支援担当も役割をもって授業に参加する。
- 今年度からアンケートに加えた「日本文化のよさを知っているか」が低い。Globe カリキュラムの中にも日本文化を学ぶ場面を設定しているが、国語科や社会科、芸術教科、道徳等、他教科の中でも日本文化のよさについて意識的に伝えていきたい。

②「効果的な評価の実施」に係って

- ・各学年で工夫しながら評価シートを作成した。発達段階に合わせて今後も使いやすいものを学年団で話し合いながら使用したい。
- 「振り返り」は、毎時間行わなくてもよいこととし、年間のLGC一覧表を確認しながら特に児童の心が動く場面を選んで評価する。①自分の成長を見取る②先生方の評価のしやすさ、をねらいとして、現在使用しているものをもとに学年で工夫する。
- 「振り返り」は、低学年は紙、中学年以降は発達段階によってタブレットに移行していく。

③「地域教育資源のさらなる活用」に係って

- ・5年生の国語科漢詩でのCIRの活用や複数のALTとの授業、3年生のカードを送る活動等、CIRの活用を新たに入れることができた。
- コロナ対応が緩和される今後は、日本語学校や他校種との交流を増やしていきたい。
- 保護者の学校評価が若干下がっている。「『多文化共生』の態度を育てているか」の文言が回答しにくいこともあるが、通信等で積極的に伝える必要もある。

④その他

- 真ん中教室が教室として使われることから、カード類を整理し、各ブロックのグラウンド側廊下に整理棚を準備する。
- Globe 紫ファイルは、来年度以降も1年生に用意したい。
- 今後もALTと学年団の打ち合わせを大切にしていきたい。打ち合わせ時間については、ALTの勤務時間、日課表と関わる。
- R5年度は、研究発表会をおこなうことも考えられている。推進連絡協議会での検討を経て、町教研(事務局・会場：東小)とも確認していきたい。

東川第二小学校 令和4年度 振り返り

【1・2年生】

- ALTと積極的に関わりを持ったり、学習した言葉やジェスチャーを使って話をしたりすることができた。
- ALTの適切な指導で、児童の発音が上達した。
- ▲ 人数が少ない学年なので、学習したことを試す場面が少なかった。意識して他学年や、校内の職員、またはゲストとの交流を増やす必要がある。

【3・4年生】

- コロナの状況も昨年より落ち着き、JETとの交流を増やすことができた。
- 8月から常駐のALTが1名増え、JTE1名、ALT2名、支援1名の4人体制で、個々に寄りそった指導を継続することができた。
- ▲ 少人数の学級であるため、外部との関わりをより積極的に増やし、学校外の人たちとのコミュニケーションを図る経験を積ませたい。
- ▲ 毎授業の振り返りの時間の確保。(記入する時間を取れないことが多かった。)

【5・6年生】

- コロナの状況も昨年より落ち着き、JETとの交流を増やすことができた。
- Globe 夏期研修での学びを活かし、他教科とのつながりを意識した教科横断的な学習の実践を少しずつ盛りこむことができた。
- 英語の歌などを通して、英語らしいリズムや発音が身についてきた。
- ▲ JETや他校の児童との交流をためらう傾向があるので、そういった活動の機会を増やし、学校外の人たちとの交流に慣れさせていきたい。
- ▲ 毎授業の振り返りの時間の確保。(記入する時間を取れないことが多かった。)
- ▲ 読む・書く活動の時間を十分に確保することができなかった。中学校の内容とのつながりも意識し、アルファベットの太文字・小文字、語と語の間は1マス空けるなどの基本的な力は高学年のうちから身につけさせたい。
- ▲ 定着が遅れている児童や、意欲が低い児童に対する働きかけを工夫していく必要がある。

【全体を通して】

- 8月から常駐のALTが来てくれたことで、すべての学年の授業にALTが参加することができるようになった。教材準備なども手伝ってもらえることが増えた。
- 町内のJETとの交流の機会を昨年よりも大きく増やすことができた。他国の文化に触れる機会が増え、子ども達の学習に対する姿勢も変わったように思える。
- ▲ 他校との交流を対面形式、オンライン形式の双方でより増やしていけるような取り組み
- ▲ 時数の確保が難しかった。



	成果	課題
1 2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週火曜日の2時間目にALTと担任で指導。 ・必要に応じてJTE(神野教頭)も指導に加わる。 ・ALTとの打ち合わせは金曜に行う ・第一小の複式カリキュラムを活用。問題なし。 ・SWITCH ONを毎時間使用し、児童は楽しく取り組めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童のレベルによってはSWITCH ONの活用が課題になりそう。 ・生活科と関連した学習が多いので別葉を効果的に活用したほうが良い。時数確保もしやすくなる。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・担任、JTE(阿部先生)、ALT,STEで指導 ・SWITCH ONの活用で発音が良くなった。 ・ビンゴゲームが人気だった ・单元ごとにゲストティーチャーを活用 <p>※次年度からは、3・4年生一緒に第一小の複式カリキュラムで学習する予定。最初にSWITCH ONは学年別に視聴してから合同で学習することを検討中。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの中の「ぴったりゲーム」はどんなゲームなのかわからなかった。 ・フレーズが長くなってきて覚えるためにカタカナで書こうとする児童がいて困った。 ・G7「カードを送ろう」で好きな形を集める活動はどのようにやっていますか?時期がずれてバレンタインカードになりそう。 ・時数確保(校内の課題)
4 年	<ul style="list-style-type: none"> ・担任、JTE(阿部先生)、ALTで指導 ・SWITCH ONの活用で単語が読めるようになった。 ・单元ごとにゲストティーチャーを活用 ・Globe スペシャルで羽衣太鼓を体験。意欲的だった。(社会科で学習していたため) 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期頃から特別支援学級の児童が授業に参加して「分からない」を連発していた。学習が難しくなってきた。 ・時数確保→複式で行えば、改善されるかも。 ・5年生に向けて、アルファベットを書けるように、単語もある程度書けるように、3・4年の復習をしておいた方がよい。
5 年	<ul style="list-style-type: none"> ・JTE(阿部先生)とALTで指導 ・毎時間のsmall talkの取り組みにより、ALTとの即興でのやり取りがスムーズになってきた。 ・JETとの交流や、東小との合同授業などで外部との交流を行い、発表などにも自信がついた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SWITCH ONの継続的な活用を十分に行うことができなかった。 ・毎時間の振り返りの時間を確保することができなかった。 ・アルファベットの読み書きがまだ難しい児童がいる。ほかの児童との習熟度の差が大きいのので、個に寄り添った指導が必要。
6 年	<ul style="list-style-type: none"> ・JTE(阿部先生)とALTで指導 ・毎時間のsmall talkの取り組みにより、ALTとの即興でのやり取りがスムーズになり、使える表現の幅も増えた。 ・英語の歌の活動が好きなようで、少し難しい曲でも正しく歌えるようになった。 ・英検ESGではほぼ満点だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SWITCH ONの継続的な活用を十分に行うことができなかった。 ・毎時間の振り返りの時間を確保することができなかった。 ・読む活動にあまり時間を割くことができなかった。よく使う語や表現などはスムーズに読むことができる力を身につけさせたい。

東川中学校 令和4年度 振り返り

【1年生】

- ①可能な限り ALT に授業に入ってもらった→最近では他学年の授業との兼ね合いで不在だと、生徒が「ラビンダー先生は（いないの）？」とたずねるようになるほど、ALT との授業が当たり前になった。
- ②4月当初から Classroom English を示し2ヶ月近く以上帯活動として練習を繰り返した。今では忘れ物をした場合でも英語で伝えることができている（忘れ物はあまりよくないが、、、）
- ③デジタル教科書に付随されている資料映像を用いて学習内容を広げた。
- ④ALT や CIR と1対1でのインタビューテストを行った（Globe Trial）。
- ⑤ほぼ毎時間 Dictation Test を行い、聞く力と書く力をつけることに努めた。内容は復習を兼ねて教科書本文からとし、必ず予告することで、事前の自己学習の意欲を高めた。
- ⑥定期的に Spelling Contest（単語50問テスト）を行い、学習方法と習慣、書く力の向上に努めた。
- ⑦ALT や CIR の協力を得て、定期的に教科書 Reading Test を行い、音と文字のつながりを意識させながら読む力の向上に努めた。
- ⑧ALT プログラムとして自己をみつめ、“All about Me”自己紹介ポスター作成し、東中祭で展示した。
- ⑨CIR、SEA、ALT を5名招き「Let's Interview」として各グループに分かれ英語でインタビューを行い、知り得た内容を3分でまとめ英語でグループでの自己紹介スピーチを行った。その後、英語歌“Paprika”を全員で歌い踊った（ダンスは東川養護学校との交流のため別途練習していた）
- ⑩ALT プログラムとして Global issues（世界的問題）や Local issues（地域の問題）について考え、ポスター作成した（冬休み課題）
- ⑪グリーティングカードについて学び Let's Interview で招いた CIR、SEA、ALT 宛に Thank you card、Christmas card、New Year's card を書いた。

【2年生】

主な活動

- ・ Unit4 Homestay in the United States
ホームステイ、家庭のルールを ALT、CIR から学ぶ→ゾエ、ラビンダー
（聞くのが主な活動。真面目に聞くことはできるが、「相手に興味を持って質問する」というところが弱く受け身なので、自分ごとと考えて積極的に相手に関わる力の養成が今後の課題。）
- ・ イングリッシュ・トライアル→アルタ、ケルットウ、ラビンダー、メイブ
物怖じする生徒が少なく楽しそうに1対1の会話をしていた。小さいときからのグローブ活動の効果のたまものです。
- ・ Unit5 Universal Design ～だれもが暮らしやすい社会について考える～
（旭川福祉専門学校 介護体験 介護する人に求められること、介護を受ける人の気持ちなどを学んだ。この日学んだことを英語の発表につなげた。中学2年生の思考と、表現できる文法のレベルとの差が大きい。無理な表現はさせず、なるべく既習の表現を思い出して使うように指導した。）
- ・ 美術科との連携→視覚に困難を抱える人の見え方を学ぶ
→UD 商品を学ぶ
- ・ Unit7 World Heritage Sites （世界遺産について、調べて発表）
- ・ 日常的な活動。ウォーミングアップとしてペアで日常会話。暗唱テスト。ディクテーションテスト。歌（歌を通して、音のくずれを身に付けさせてリスニング力の向上。発音の向上。また他国の文化理解。だんだんと歌えるようになることが実感できると、声が大きくなっていき楽しい。）

東川中学校 令和4年度 振り返り

・ALT の配置を曜日毎にして、スムーズに活用できた。ラビンダーは非常に協力的で、こちらの意を汲んで、動いてくれて助かった。生徒も慣れて質問することに不安がない様子。イギリス人 ALT は初めてなので、表現や発音を知るいい機会になった。私とは意見が分かれることもあり、面白かった。

・授業とは別に、毎日昼休みに英語多読をしています。昨年のはべ400名程度が英語の本を読みました。今年は利用が少ないですが、継続中。ラビンダーも継続して手伝ってくれています。イギリスの小学校で使用する絵本なので、ラビンダー自身子どもの頃に読んだことがあるものです。

【3年生】

<実施した活動・トピック>

- ・ writing essay: 興味のある言語について
- ・ discussion/speech: Why is “Fair Play” needed in sports?
- ・ quiz(about sports, diversity, symbiotic society)
- ・ texting
- ・ reading: scan reading, skim reading
- ・ taking survey
- ・ role playing: to welcome other people
- ・ making poster about animals on the Red List
- ・ essay: Why should we protect endangered animals?
- ・ presentation: taking video (about school trip)
- ・ pamphlet of Higashikawa
- ・ Presentation: explaining how to evacuate to foreigners in Higashikawa
- ・ essay: a person who you respect
- ・ dictation
- ・ reading(plus / change situation)

【全体を通して】

- ・各月毎に曜日で ALT のスケジュールを振り分けた。
- ・(1年生)「東川の職業人を紹介しよう」プログラムは東中祭や定期考査等の兼ね合いから非常にスケジュールが厳しかったが、佐原さんや大角課長さんの力をお借りして乗り切ることができた。
- ・(1年生) 上記プログラムとして Globe 科の教員が一人での対応だったので、とても大変だった。
- ・(3年生) ロイロノートを通じて発表内容の生徒間での共有や、交流を通じて、より多くの表現を使おうとする意識が高まった。
- ・(3年生) 外部団体との交流の時間の確保は難しかった分、Writing や Speech の取り組みを厚くすることができた。→町内の JET との交流の機会や、パラスポーツの団体との共同の授業を企画したものを実施することができなかった。※コロナによる学校閉鎖、学校行事のタイミング等で時数の確保が難しかったため